

平成22年度「協働」に関する事業、施策等の取組状況(実績)について

平成23年7月

平成22年度 協働事例件数

(所属部・課)

所属部・課	件数	備考
総務部	4	
行財政改革課	4	
防災調整監	4	
危機管理課	4	うち1事業は複数課
総務調整監	1	
市民税課	1	
人権政策監	4	
人権推進課	2	
男女共同参画課	2	
企画推進部	15	
企画調整課	2	
中山間地域振興課	2	
協働推進課	5	
コミュニティ支援室	2	
市民総合相談課	1	
情報政策課	1	
文化芸術推進課	2	
福祉保健部	5	
高齢社会課	1	
鳥取中央地域包括支援センター	1	
鳥取西地域包括支援センター	1	
生活福祉課	2	うち1事業は複数課
健康・子育て推進局	7	
児童家庭課	3	
中央保健センター	4	
経済観光部	5	
経済戦略課	2	
観光コンベンション推進課	2	
鳥取砂丘・ジオパーク推進室	1	
農林水産部	5	
農業振興課	3	
林務水産課	2	
都市整備部	9	
都市企画課	1	うち1事業は複数課
交通政策室	2	
市街地整備室	2	
都市環境課	2	
道路課	2	

環境下水道部		1	
	生活環境課	1	
議会事務局		1	
教育委員会事務局		7	
	学校教育課	2	
	生涯学習課	4	
	文化財課	1	
総合支所		40	教委分室含む
	国府町総合支所	10	
	福部町総合支所	3	
	河原町総合支所	5	
	用瀬町総合支所	10	
	佐治町総合支所	1	
	気高町総合支所	3	
	鹿野町総合支所	4	うち1事業は複数課
	青谷町総合支所	4	
水道局		1	
市立病院		1	
合 計		108	重複する事業を除く

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
1	鳥取市総合企画委員会	行財政改革課	鳥取市総合企画委員会									○	<p>委員会は、市民からの公募委員4人を含む20人の委員で構成されています。</p> <p>第9次鳥取市総合計画策定にあたり、平成21年8月に市長の諮問を受け、研究立案していただきました。</p> <p>また、第8次鳥取市総合計画の進捗管理を行いました。</p>	<p>委員会の審議により約50の意見・提案をいただき、総合計画(案)に反映しました。</p> <p>意見・提案をいただくにあたっては、市民アンケート、市民まちづくりワークショップ、鳥取市自治連合会の提言書、市民政策コメントなどの多くの市民の皆さんの意見を踏まえました。</p> <p>そして、当該委員会の答申を受け、長期展望にたった、市勢振興の基本的方向を示す、第9次鳥取市総合計画を策定することができました。</p> <p>公募委員4人(参加率20%)</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>6回開催</p> <p>決算額 724,797円</p>
2	市民まちづくりワークショップ	行財政改革課	市民まちづくりワークショップメンバー									○	<p>市民との協働により「第9次鳥取市総合計画」を策定するため、市民活動団体や若者会議、地域審議会委員などから公募による49名のメンバーが主体となって、総合計画を5つのテーマに区分し、市の将来像やまちづくりについて「市民」「事業者」「行政」の役割について話し合いを進め、提言書を提出いただきました。</p>	<p>次の5つのグループから計40の提案をいただき、総合計画(案)に反映しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次代を担う人づくりグループ</li> <li>・自然と共生するまちづくりグループ</li> <li>・安全・安心のまちづくりグループ</li> <li>・にぎわいのあるまちづくりグループ</li> <li>・効率的で質の高い市政の推進グループ</li> </ul> <p>メンバー 49人(出席率:87.6%)</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>①次代を担う人づくりグループ メンバー 9人 3回開催</p> <p>②自然と共生するまちづくりグループ メンバー 10人 3回開催</p> <p>③安全・安心のまちづくりグループ メンバー 10人 3回開催</p> <p>④にぎわいのあるまちづくりグループ メンバー 10人 3回開催</p> <p>⑤効率的で質の高い市政の推進グループ メンバー10人 5回開催</p> <p>決算額 280,020円</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他			
3	まちづくり フォーラム 2010	行財政改 革課	市民								<p>平成23年度を初年度とする「第9次鳥取市総合計画」の策定にあわせ、将来の本市のあるべきまちの姿を市民と共に考え、市民のまちづくりへの参加・参画に向けた情報を提供し、意識啓発を図ることを目的として開催しました。</p> <p>開催日 平成22年10月15日(金)</p> <p>場 所 市民会館</p> <p>内 容 ○基調講演「自然が教えてくれた人間力」</p> <p>○ 講師 高木 美保さん(タレント)</p> <p>○パネルディスカッション テーマ「魅力ある鳥取市の将来」 鳥取市総合企画委員会 道上委員 長をコーディネータとして、2人の若者と市長をパネリストに、テーマについて討議していただきました。</p> <p>参加者 300人</p>	<p>パネルディスカッションでは、2人の若者と市長をパネリストに「魅力ある鳥取市の将来」をテーマに討議しました。若者の視点から、雇用環境や子育て環境の将来像の提案を元に市民目線によるまちづくりが討議されました。</p> <p>市民が主体の参画と協働によるまちづくりの意識高揚を図り、総合計画への意見、提言を促進しました。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>参加人数 300人 決算額 1,053,950円</p>	
4	行政評価の 外部評価	行財政改 革課	行財政改革 推進市民委 員会								<p>委員会において外部評価の実施が必要と判断した、11項目、21事務事業を本年度の評価対象に選定し、本市が行った行政評価が妥当であるかどうかを評価しました。</p> <p>(選定条件)</p> <p>○一般財源の額が1,000万円以上のもの</p> <p>○一般財源の比率が総事業費の80%以上のもの</p> <p>○概ね3年以上継続しており、平成22年度も引き続き実施するもの</p> <p>○評価対象に選定した事務事業に密接に関連するもの</p>	<p>本市の内部で行った行政評価が妥当であるかどうかを、学識経験者等の専門的見地や市民の視点から検証し、今後における効率的な行政運営のための提言を受けました。</p> <p>新たな試みとして、ヒアリングを一般市民に広く公開するため休日に開催し、一般市民の目線という緊張感のある中、さらに深い討議を行うことができました。傍聴者52人のうち16人が一般市民でした。</p> <p>提言に基づき、レーク大樹利用助成などの事業の見直しを行うなど、事業の改善を行いました。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>8回開催 (内、第4回・第5回を公開ヒアリングとしました。)</p> <p>決算額 475,000円</p>	

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他				
5	安全で安心なまちづくりネットワーク会議	危機管理課	自主防犯活動団体(73団体)									○	<p>鳥取警察署、智頭警察署、浜村警察署の各管内ごとに、自主防犯活動団体、警察署、鳥取市、鳥取市教育委員会等が相互の情報交換及び情報の共有を行い、地域の実情を考慮しつつ安全で安心なまちづくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に応じた防犯活動を行うため、自主防犯活動団体の実践内容等の情報を共有します。</li> <li>・身近な地域安全活動を実践するため、警察署からの犯罪情報等を共有します。</li> <li>・児童生徒の安全を確保するため、警察署・鳥取市教育委員会からの不審者情報等を共有します。</li> <li>・安全で安心なまちづくりを推進するため、鳥取市・鳥取市教育委員会・警察が取り組むべき事項を検討します。</li> </ul>	<p>自主防犯活動団体、警察署、鳥取市、鳥取市教育委員会等が相互に情報交換及び情報の共有をすることにより、犯罪の発生の抑制につながります。</p> <p>また、他地域における防犯活動状況を共有することにより、地域ごとの新たな防犯活動につながります。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>鳥取警察署管内 1回実施 智頭警察署管内 1回実施 浜村警察署管内 1回実施 計3回実施 決算額0円</p>
6	安心安全まちづくり推進事業	危機管理課	自主防犯活動団体(73団体)									○	<p>町内会等で結成している自主防犯団体が実施する講習会や危険箇所の点検、防犯パトロール等に要する経費の一部を補助し、地域の防犯活動の活性化を図るとともに、活動団体の育成・支援を行い、地域における防犯活動の強化を図ります。</p>	<p>防犯パトロールや、防犯マップの作成等に必要な資機材にかかる費用を補助することにより、地域防犯活動の活性化を図るとともに、地域防犯力の向上につながります。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>○補助金交付団体 5団体 (江崎町町内会ほか4団体) ○活動内容 防犯パトロール 決算額 500,000円</p>
7	鳥取市自主防災会連合会	危機管理課	鳥取市自主防災会連合会									○	<p>鳥取市自主防災会連合会に対し補助を行い、傘下の地区自主防災連絡協議会及び自主防災組織に対し、訓練や講習会、消火器の設置等に対し助成を行っていただき地域防災力の向上を図ります。</p> <p>また、未結成の町内に対し、自主防災会結成を働きかけ、地域自主防災力の向上を図ります。</p>	<p>自主防災組織の実施する訓練等に要する経費や、防災資機材整備の一部等を補助することにより、地域防災力の向上を図ります。</p>	<p>平成22年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・傘下自主防災会における訓練実施状況…518自主防災会が年2回以上の訓練を実施</li> <li>・未結成の集落における新規結成状況…7町内会が新規に自主防災会結成</li> </ul> <p>決算額 15,149,000円</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
8	ふるさと納税地元企業等協賛プレゼント・観光施設等優待割引事業	市民税課	地元企業等、市関連観光施設等			○							<p>「ふるさと納税」による鳥取市への寄附件数の増加を図るため、本市へ1万円以上寄附された方へ、協賛をいただいた地元企業等から提供された5,000円相当の地元特産品等(17社、20品目)を地元産品のPRを兼ねて「鳥取ふるさとプレゼント」として進呈します。</p> <p>また、寄附をいただいたすべての方に「鳥取市応援者証」を発行し、本市観光施設等の優待割引を行うことにより、本市応援の輪を広げるとともに施設のPR、集客の増加を図ります。</p>	<p>鳥取ふるさとプレゼント事業</p> <p>○本市の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元産業の振興、活性化を図るとともに地元産品をPRすることができます。</li> <li>・ふるさと納税者寄附者の負担の軽減(住民税等寄附金控除自己負担分5,000円)とともにプレゼントの魅力により寄附件数の増加が期待できます。</li> </ul> <p>○協賛企業等のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼント代5,000円相当のうち3,000円(送料代含む)を鳥取市が負担</li> <li>・県内外の方に市ホームページやパンフレット等を通して、企業名、商品名等がPRされる。また、商品発送時に企業PRチラシを同封することができるため、県外者へ企業独自の顧客層が広がられます。</li> </ul> <p>○観光施設等優待割引事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市ふるさと納税について市関連観光施設等に協賛・協力いただき優待割引の特典付き「鳥取市応援者証」を寄附者に送付することにより、全国へ本市応援の輪を広げるとともに施設のPR、集客の増加につなげます。</li> </ul>	<p>平成22年度実績</p> <p>プレゼント発送企業等 16社 発送件数 211件</p> <p>決算金額 633,000円</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他					
9	鳥取市地区人権教育推進事業	人権推進課	鳥取市地区人権啓発推進協議会連合会									○		鳥取市地区人権啓発推進協議会連合会(以下連合会)は、昭和56年に組織され全市で52地区同推協等(～地区同和教育推進協議会または、～地区人権教育推進協議会、または～地区人権・同和教育推進協議会と名称にばらつきがあるため、「地区同推協等」という表現で取りまとめる。)が加盟しています。 それぞれの地区同推協等においての小地域懇談会を主とした諸活動を充実させるため、各地区の会長・推進員を対象とした研修会や情報交換などの学習機会の提供を行ないました。	各地区同推協等が主体となって、町内会単位での小地域懇談会を開催し、人権について学習する機会を提供します。 これにより、多くの市民の人権意識を高めるきっかけをつくることができ、それぞれの地域における「差別のない明るいまちづくり」の実現が期待されます。	平成22年度小地域懇談会の実施状況 ・参加人数 8,443人 ・開催回数 511回 ・開催町区数 674町区 ・実施率 79%(674町区/848町区)  決算額 9,320,000円
10	人権尊重社会を実現する鳥取市民集会	人権推進課	鳥取市人権教育協議会									○		同和問題をはじめとするあらゆる人権課題の解決をめざして研修を深め、実践と交流の輪を広げることを目的に市民集会を開催しました。  期 日 平成22年7月28日 場 所 とりぎん文化会館 ほか 内 容 全体会(講演)、7分科会(人権課題別)	市民集会の開催により、市民に人権意識の向上の機会を提供することができ、「差別のない人権尊重都市鳥取市」の実現が期待されます。	平成22年度実績 参加者 1,300人  決算額 1,378,416円



市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
11	女(ひと)と男(ひと)とのハーモニーフェスタ	男女共同参画課	女と男とのハーモニーフェスタ実行委員会		○							○	<p>男女共同参画意識の普及啓発を図るため、実行委員会に事業を委託し実施しました。</p> <p>1.日時 平成22年9月25日(土) 2.場所 とりぎん文化会館 3.概要</p> <p>○ステージイベント・大会宣言 ・講演「息子3人 アナウンサー・記者夫婦奮闘物語」 講師:フジテレビアナウンサー 笠井信輔さん</p> <p>○ワークショップ ・おとうさんの子育て・・・イクメンって？ ・参加団体によるパネル展示・即売など</p> <p>○表彰 ・男女共同参画標語 ・小学生オリジナルマイバックコンテスト</p>	<p>・女性の積極的な社会参画意識の高揚と男女共同参画に関する市民の意識啓発につながりました。</p> <p>・男女共同参画登録団体をはじめとする男女共同参画社会の実現を目指す団体活動の育成につながりました。</p>	平成22年度実績 決算額 880,000円
12	女性コミュニティ活動推進助成事業	男女共同参画課	まちづくり協議会に所属するまたは所属を予定する女性団体									○	<p>まちづくり協議会に所属するまたは所属を予定する女性団体が連携し、主体となって実施する地域コミュニティの推進につながる住民の多数が参加する活動、事業に対して助成しました。</p> <p>●補助対象事業 地区公民館設置区域の女性団体が連携し、主体となって実施する地域コミュニティの推進につながる住民の多数が参加する活動、事業</p> <p>●補助対象者 まちづくり協議会に所属するまたは所属を予定する女性団体</p> <p>●補助金額 1事業につき上限3万円(補助率3/4)</p>	<p>女性の主体的なコミュニティ活動を支援することにより、女性リーダー、団体の育成・強化が図られ、まちづくり協議会への女性の参画が推進され、地域における男女共同参画によるまちづくりの推進が図られた。</p>	平成22年度実績 決算額 12団体 327,000円

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他					
13	市民手づくり交流事業	企画調整課	市民団体									○		<p>経済、文化、スポーツなどの分野を問わず、本市と姉妹都市などの市民が参画し、市民レベルでの相互理解と友好親善を促進する事業に対して、補助金を交付します。</p> <p>○対象都市 ・国際姉妹都市 韓国:清州市 ドイツ:ハーナウ市</p> <p>・国際交流都市 中国:太倉市、沙河市、オールドス市</p> <p>・海外協会 ブラジル鳥取県人会</p>	<p>本市と姉妹都市などとの市民団体相互の交流が実施でき、草の根交流のすそ野を広げることができます。</p>	<p>平成22年度実績 ・派遣団体:1団体(中国・太倉市) ・決算額:250,000円</p> <p>平成21年度実績 ・派遣団体:2団体(ドイツ1、中国1) ・決算額:600,000円</p>
14	民間交流促進事業	企画調整課	市民団体									○		<p>経済、文化、歴史、スポーツなどの分野を問わず、本市と鳥取県外の都市の市民が参画し、市民レベルでの交流を促進する事業に対して、補助金を交付します。</p>	<p>民間レベルの様々な分野での国内都市交流を促進することにより、本市の地域活性化及び全国への地域情報の発信に資することができます。</p>	<p>平成22年度実績 ・派遣団体:1団体(北海道利尻町) ・決算額:250,000円</p> <p>平成21年度実績 ・派遣団体:1団体(福島県郡山市) ・決算額:500,000円</p>
15	鳥取市グリーンツーリズム連絡会	中山間地域振興課	鳥取市グリーンツーリズム連絡会									○	○	<p>1. 研修会、講演会の開催 2. 先進地視察調査の実施 3. 情報交換会の実施 【鳥取市グリーンツーリズム連絡会の会員と市職員(本庁中山間地域振興課担当、各総合支所グリーンツーリズム推進担当)の協働による推進事業の実施】 4. 簡易宿泊また、民宿などの許可に向けた研修の実施 5. とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会との連携・協働</p>	<p>1. 新たな取組み団体(新入会員の勧誘)年1団体 2. 簡易宿泊申請単年度に2件以上 3. 簡易宿泊登録件数の増単年度に2戸以上 4. 会員の活動で新たな交流(体験)の誕生</p>	<p>1. 会員数1団体増 2. 簡易宿所申請9棟(H22) 3. 簡易宿所許可9棟(H22) 4. 新たな交流が2創出(H22) (補助金 846,000円)</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
16	移住定住・二地域ネットワーク事業	中山間地域振興課	鳥取ふるさとUI(友愛)会								○	○	移住定住・二地域居住者の交流やネットワークづくり、また、街なか砂像制作(最優秀賞)、日本の祭り、棚田水路保全作業などのボランティア活動に積極的に協力することで、移住定住と町づくりの側面支援に貢献します。	市外・県外より鳥取市へ移住定住された方々が、「楽しく、有意義で、快適な生活」が出来るよう、交流の会を作って活動を行ないます。(当初上記の目的で発会、現在賛同者は随時会員に。)	定住者交流会の開催 1回
17	参画と協働のまちづくりフォーラム	協働推進課	参画と協働のまちづくりフォーラム実行委員会等		○							○	<p>市民一人ひとりが真に豊かに暮らせる地域社会をめざすため、市民参画と市民活動の推進に向けた機運を高めるとともに、鳥取市自治基本条例施行を契機として、市民と行政との協働のまちづくりの重要性について考え、協働意識の向上を図ることを目的に、参画と協働のまちづくりフォーラムを開催します。</p> <p>日 時:平成23年1月22日(土)13:30~16:10 場 所:鳥取市民会館 大ホール 参加者:200人 主 催:参画と協働のまちづくりフォーラム実行委員会、鳥取市市民自治推進委員会、鳥取市 内 容:市民活動表彰 活動事例発表 アトラクション 講演</p>	参加者は、まちづくりに関わることの重要性や、コミュニティ組織の役割などについて考えました。 また、フォーラムの企画、運営については、市民を中心とした実行委員会が行い、それぞれの分担に積極的に携わっていただきました。	参加者 200人 決算額 424,000円

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他			
18	鳥取砂丘一斉清掃	協働推進課	鳥取市尚徳会他		○							<p>砂丘として日本一の規模を誇る鳥取砂丘は、県東部有数の観光地ですが、砂丘をはじめその周辺道路はごみの不法投棄も多く見られるようになりました。このため、ごみのない美しい砂丘にするため、また、観光客に砂丘の本来の魅力を体感してもらうため、協働による一斉清掃を昭和55年から、観光シーズン前の4月と9月に実施しています。</p> <p>清掃区域は、千代川河口から岩戸海水浴場付近までの砂丘海岸約7<sup>km</sup>で、自治連合会、事業所、市民活動団体、学校、幼稚園、保育園などから、近年は3,000人以上の多くの参加をいただいています。</p>	<p>一斉清掃は、鳥取県バス協会をはじめ、日本たばこ産業、山陰中央テレビ、砂丘センターなど事業者からの協力もいただき、協働により実施しています。</p> <p>鳥取砂丘では、年2回の一斉清掃以外に、学校の遠足や企業の研修などの一環としてまた、ボランティアグループなどによる清掃活動が積極的に行われるようになり、鳥取砂丘への愛着が深まるとともに、ボランティア活動への参加意識が高まっています。</p> <p>※従来行政が行っていた清掃業務は、一斉清掃やボランティアによる清掃が定着したことで、費用の削減にもつながっています。</p> <p>平成21年度の参加状況及びごみの収集量は以下のとおりです。            春－82団体、3,600人、4,400kg            秋－74団体、3,200人、1,230kg</p>	<p>参加状況            春 80団体 3,600人            秋 74団体 3,600人</p> <p>決算額 997,160円</p>
19	青島及び湖山池周辺一斉清掃	協働推進課	湖山池を守る会、湖山池周辺町内会、鳥取市尚徳会、各ロータリークラブ、吉岡温泉旅館組合、青年会議所等								○	<p>美しい湖山池を守るため、毎年7月に「湖山池を守る会」の主催で、湖山池周辺住民と、関係諸団体の参加により、青島と湖山池周辺の一斉清掃を実施しています。</p>	<p>この時期に清掃することで、夏休みを迎える子ども達が、安全にキャンプや釣りなどを楽しむことができます。また、美しい湖山池を守っていくためにも必要な取組です。</p>	<p>参加者 1,200人            H22.7.4(日)</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
20	鳥取地域一斉清掃	協働推進課	市民運動推進協議会、鳥取地域の市民	○									<p>鳥取市を美しくする月間及び全市一斉清掃日を定め、清掃美化活動を展開しています。</p> <p>・対象者 鳥取地域市民全員                      ・実施日 平成22年5月16日及び10月17日                      ・実施回数 年2回</p>	<p>鳥取地域全域が一度にきれいになり、市民の美化に対する意識が高まります。また、一斉に行うことでごみの収集も効率的で費用も安く抑えることができます。</p>	<p>・対象者 鳥取地域市民全員                      ・実施日 平成22年5月16日及び10月17日                      ・実施回数 年2回</p> <p>決算額 1,519,000円</p>
21	鳥取市市民活動促進助成事業	協働推進課	市民活動団体										<p>市民活動団体が自主的に企画・運営する研修会等を助成することにより、市民活動の活性化を促進させるとともに、広く市民が参加することで市民活動意識の啓発を図ります。</p> <p>・つぼみ 市民活動団体が企画実施する、市民が参加することのできるイベント、研修会等 : 補助率4/5 限度額10万円                      ・みのり 既に行っている市民活動を協働による地域づくり事業として発展させる事業 : 補助率4/5 限度額20万円</p>	<p>市民が参加できる事業や、協働によるまちづくりに繋がる事業を市民活動団体が実施することにより、市民に市民活動の意義が伝わります。</p>	<p>交付団体 つぼみ5団体                      みのり5団体</p> <p>決算額 1,473,000円</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
22	コミュニティ支援事業	コミュニティ支援室	各地区まちづくり協議会等										<p>「まちづくり協議会」が各地区で設立されるとともに、地域コミュニティ計画の作成や計画に基づく協働のまちづくり事業が実施されます。このため、地域と対話を重視しながら、「まちづくり協議会」への本市の人的・財政的支援を充実し、「協働のまちづくり」の着実な前進を図るよう、各種の事業を展開します。</p> <p>1. 人的支援の充実                      ①平成21年度に引き続き、61地区でコミュニティ支援チームを編成し、各地区のまちづくり協議会に対し、支援を行います。                      ②「まちづくり協議会」が設立され、事業を展開する地区には、標準的な職員体制に加えて、原則として、嘱託職員1名の配置を行います。</p> <p>2. 財政支援の強化                      地域コミュニティのより一層の充実・強化を図り、地域が効果的に事業を実施できるよう、地域コミュニティ育成支援事業交付金の充実を図ります。</p>	<p>市民と行政が適切な協力関係で支え合う「市民と行政による協働のまちづくり」を進めるため、コミュニティ活動への支援を行うことで、自立したコミュニティ活動の推進が可能となります。</p>	<p>22年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会の設立 全61地区</li> <li>・地域コミュニティ計画の作成 51地区</li> <li>・コミュニティ支援チーム 全61地区で編成</li> <li>・公民館職員の1名増員配置</li> <li>・決算額 22,678,000円(交付金部分)</li> </ul>
23	自治会活動活性化支援事業	コミュニティ支援室	各町内会等										<p>各自治会活動の活性化支援を目的に実施しています。</p> <p>コミュニティ活動支援事業                      運動会などのスポーツ                      地域内の文化的活動</p>	<p>住民の自主性、主体性に基づいて町内会等が地域活動を行うことにより、市民活動のパワーアップが図られ、地域コミュニティの活性化、個性を活かしたまちづくりの推進に寄与します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活動助成 431件</li> <li>・雪害対策助成 239件</li> <li>・決算額 17,965,000円</li> </ul>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他			
24	くらし110番 相談事業	市民総合 相談課	特定非営利 活動法人 市民の生活 権利擁護セ ンターうさぎ の耳								○	<p>市民の日常生活における個人的な困りごとについて相談を受ける業務を委託しています。</p> <p>【駅南庁舎】 面談・電話相談 平日 8時30分～17時15分</p> <p>【本庁舎】 面談相談 月・金 13時00分～17時00分</p> <p>●夜間、休日は電話相談のみ 平日 17時30分～22時00分 休日 8時30分～22時00分</p> <p>●FAX、Eメールでも相談を受け付けています。</p>	<p>市民活動団体が有する技能を生かした相談業務を実施することが出来ました。</p> <p>平成21年度5月から常設窓口を駅南庁舎に移転し、消費生活相談窓口と市民総合相談窓口を併せた市民総合相談センターとして開設しました。来庁者の多い駅南庁舎に相談機能を集約したことにより、相談体制の充実強化を図ることができました。</p>	<p>平成21年度実績</p> <p>【相談件数】</p> <p>平成17年度 976件 平成18年度 857件 平成19年度 1,073件 平成20年度 1,090件 平成21年度 894件 平成22年度 896件</p> <p>※平成21年5月に消費生活相談窓口を設置したため、相談件数が減少</p> <p>決算額 3,270,000円</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他					
25	コミュニティデータ放送整備事業	情報政策課	自治会・町内会、地区公民館、まちづくり協議会									○		<p>・平成23年7月までにテレビのアナログ放送終了に伴い、地上デジタル放送へ移行します。</p> <p>・ケーブルテレビも地上デジタル放送への対応が必要で日本海ケーブルネットワーク、鳥取テレピアの自主チャンネルもデジタル対応が必要となり、この自主放送チャンネルを利用してケーブルテレビでデータ放送を行うものです。</p> <p>・データ放送の内容は、 行政情報(鳥取市からのお知らせ、市民便利帳、連絡先一覧) 地域情報(電子回覧板、日本海新聞ニュース、安全・安心メール、休日当番医) CATV局からのお知らせ(お知らせ、番組案内、障害・メンテナンス情報)</p> <p>※ 電子回覧板で自治会・町内会、地区公民館、まちづくり協議会の情報をCATV加入者であれば各家庭のデジタルテレビで視聴できます。これは、自治会・町内会、地区公民館、まちづくり協議会の情報伝達手段を提供し、もってコミュニティの活性化や協働のまちづくりを促進するとともに、集落内有線放送設備等の老朽化を補完するものとして有効利用してもらうものです。</p>	<p>自治会・町内会の情報伝達手段をデータ放送で提供します。また、地区公民館・まちづくり協議会の情報を市民へ容易に伝達できます。</p> <p>数値目標 835自治会・町内会のうちデータ放送利用 23年度までに10%程度の83自治会の利用 61地区公民館(まちづくり協議会事務局含む)のうち23年度までに70%の42地区公民館の利用</p>	<p>※情報掲載数は時期によってばらつきがあるため、データ放送の実績はID付与数とする。</p> <p>平成22年度実績 125町内会(835町内会中、ケーブルテレビ加入率が90%以上の町内会)のうち、59町内会にIDを付与(47%) 61地区公民館のうち、61公民館にIDを付与(100%)</p>



市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他					
26	芸術の出前講座事業	文化芸術推進課	鳥取市文化団体協議会										○	鳥取市文団協に委託し、地域の文化芸術活動の実践者が指導者として学校に出向き、子供たちに文化芸術の指導を行うもので、平成17年度からスタートしています。	鳥取地域で活躍している文化活動者が学校に出向き、子どもたちへ文化の楽しさを伝授します。文化活動者は、日頃の活動をいかして、学校では取り組みが難しい芸術文化活動を指導します。子どもたちが、同じふるさとに住む身近な人との触れ合いを通して、芸術文化に親しみ、表現する楽しさを感じながら、豊かな感受性を育てていくことを目的としています。	平成22年度実績 ◇実施校:賀露小、遷喬小、倉田小、宝木小、鹿野小の5校 ◇参加児童数 のべ参加児童数 1,242人 ◇実施分野 洋画、書道、デザインなど19分野 ◇合同作品展 12/16(木)～1/16(日)、鳥取市文化センター展示ホールにて開催 決算額 500,000円
27	童謡・唱歌100曲マラソン	文化芸術推進課	100曲マラソン実行委員会										○	岡野貞一・田村虎蔵などの県出身の作曲家を顕彰し、名曲を歌い継ぐことを目的に開催される文化事業です。県内外の保育園や合唱団体などがステージでリードし観客とともに100曲を歌い継ぐというユニークなイベントで、鳥取市が実行委員会に委託して実施しています。	県内出身の作曲家の検証と童謡・唱歌の普及推進します。	平成22年度実績 出演:33団体 1,200人 観客 2,000人
28	ファミリーサポートセンター(生活援助型)運営事業	高齢社会課	(社福)鳥取市社会福祉協議会に委託										○ ○	軽易な家事援助等を受けたい高齢者や家族介護者等と、これらの援助を行いたい人の双方に会員登録してもらい、援助活動の仲介を行います。会員は、市の仲介後、安価なサービスの対価を収受し、多様な介護ニーズを充足させます。	多様化する介護ニーズを充足させるサービスは、地域特性から民間の参入があまり期待できないこともあり、地域の介護力を高める必要がある中で、行政と地域住民がそれぞれにできることを活かしながら、効率的かつ効果的に介護サービスを供給できます。	平成22年度実績 依頼会員 844人 協力会員 462人 両方会員 9人 合計 1,315人 活動状況 8,273回 決算額 8,023,000円

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他			
29	家族介護者交流事業	鳥取中央地域包括支援センター	家族介護者の集い“スマイル・スマイル”									<p>家族介護者の集い“スマイル・スマイル”の活動が定着し自主的に運営できるよう、賛助会員として登録し事務局運営を支援し、学習会の支援・活動の広報・参加の受付を行っています。</p> <p>家族介護者同士が悩みを共有したり、情報交換を行うことにより、介護者自身の肉体的・精神的負担の軽減が図られています。</p> <p>○ 毎月1回定例会を開催し、家族介護者の交流の場(懇談会、勉強会、日帰り旅行など)を提供しています。また、今年度は5周年事業として、6月5日にシンポジウムを開催しました。</p>	<p>高齢者等を介護している家族が参加している会であり、以前からの会員が新しい会員に助言をしたり、悩み事を相談した会員に、情報提供をしています。自分の今の気持ちを同じ立場の人たちに話すことにより、介護の孤独感から開放され、心身ともにリフレッシュされており、事業効果は大きいと考えられます。</p> <p>平成22年度はシンポジウムを一般市民対象に開催し、介護者の家族のためにも医療・看護・介護の連携がよくなるよう学ぶ機会を持ちました。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>開催回数 12回 参加人数 259人</p> <p>決算額 80,000円</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他			
30	鳥取西地域 キャラバンメ イト連絡会	鳥取西地 域包括支 援センター	鳥取西地域 キャラバンメ イト連絡会									<p>「認知症を予防するとともに認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」の実現に向けて、認知症サポーターの育成とともに各種の啓発や予防活動及び関係機関、組織、団体等への働きかけや協力、連携体制づくり、ネットワーク化を推進します。</p> <p>1活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「認知症サポーター」の育成</li> <li>②「認知症を予防するとともに認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」のための普及啓発</li> <li>③認知症予防対策に対する活動支援</li> <li>④具体的活動のための連絡会の開催</li> <li>⑤資質向上のための研修</li> </ul> <p>2組織体制</p> <p>会長1名、副会長1名、各町代表各1名(3名)の役員をおく。現在の会員12名)</p>	<p><b>1キャラバンメイトと行政の協働による市民への効果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 認知症予防のための回想法等を啓発したことによりサロンでも取り入れるようになった</li> <li>② 認知症サポーター養成講座が福祉教育、人権啓発の一環として取り組まれ認知症を知り、高齢者への尊厳や地域で支え合う意識が高まってきつつある。</li> </ul> <p><b>2 鳥取西地域キャラバンメイトの効果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① キャラバンメイト連絡会を立ち上げ定例化し情報交換や研修などを行ったり認知症予防教室への支援や回想法などの地域活動を行ったことなどによりキャラバンメイトの意欲、資質の向上が図れた。</li> <li>② 鳥取市市民活動表彰を受賞し、会員の意欲の醸成と協働の重要性の認識が深まった。</li> <li>③ 活動報告書の作成や鳥取県福祉研究学会の発表などにより活動をふりかえり評価できた。</li> </ul> <p><b>3 協働による行政としての効果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 連絡会を立ち上げ、会員が主体的に認知症サポーター養成講座の勧奨をしたことにより講座回数が激増した。</li> <li>② 認知症サポーター養成講座で鳥取西地域包括支援センターのちらしにより啓発したことで相談件数が増え認知症対応につながった。</li> <li>③ 活動報告書を作成し関係機関へ配布したり新聞掲載やびよんびよんネットへの放映などにより、連絡会の活動紹介や広く認知症の理解、啓発ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「認知症サポーター」の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座 56回 2001人 (一般43、企業9、PTA1学校3)</li> </ul> </li> <li>②「認知症を予防するとともに認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」のための普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸劇 5回 526人</li> <li>・パネル展示 6回 782人</li> <li>・対外的活動 4回 (活動報告、学会発表など)</li> </ul> </li> <li>③認知症予防対策に対する活動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症予防教室レクチャー 11回</li> <li>・回想法出前講座 11回 260人</li> </ul> </li> <li>④具体的活動のための連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取西地域キャラバンメイト連絡会 13回</li> </ul> </li> <li>⑤資質向上のための研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修企画 5回</li> <li>・研修会参加 8回</li> </ul> </li> <li>⑥その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度市民活動表彰受賞</li> <li>・鳥取県福祉研究学会第4回研究発表会学会奨励賞受賞</li> </ul> </li> </ul>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等				
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他							
																	認知症の理解への啓発ができた。 ④ 認知症予防対策に関する活動を広く行い、積み重ねてきた結果、関係機関や地域の組織などとの連携が構築でき、認知症予防教室への支援などさらなる活動の展開につながった。 ⑤ 活動報告などにより協働の重要性やあり方等について行政の他の部署に啓発できた。	
31	ふれあい広場事業	生活福祉課	障害者団体、ボランティア団体	○									障がいのある方もない方も一緒にスポーツ、リクレーションを楽しむなどの交流を通じ、障がいへの理解を深めます。  ・模擬店(たいやき・てんぷら・ジュースなど) ・福祉事業所即売会 ・もちつき、ゲームなど	従来の模擬店、もちつき、ゲーム等のほか、福祉事業所の即売会を行うことにより、今まで以上に障がいについての理解を深め、市民間の交流を促進します。	平成22年度実績 参加者 約800人 決算額 1,345,366円			
32	災害時要援護者支援制度モデル地区事業	生活福祉課 危機管理課	自治会、民生児童委員協議会などの地域の要援護者支援団体										ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方などの要援護者が、災害時に地域の“共助”により支援を受けられる体制づくりを促進し、災害に強い安全・安心なまちづくりを目指します。  【具体的な事業内容】 要援護者となりうる対象者の情報を、市から地域の要援護者支援団体(自治会、自主防災会、民生児童委員等)に提供し、支援団体からその対象者に対して制度への登録について直接働きかけを行っていただきます。 制度登録に対して同意が得られた場合は、災害時に必要な支援の内容など、詳細な要援護者情報を収集し、その情報を台帳にして地域の中で共有し、要援護者に対する日ごろの見守りや災害発生時の支援体制を整備していただきます。	平成24年度までの3か年において、要援護者支援体制の未整備地区(38地区)を対象に制度の普及を図ります。  ■平成22年度 16地区で実施予定 ■平成23年度 16地区で実施予定 ■平成24年度 6地区で実施予定	平成22年度実績 取組地区 10地区 決算額 1,703,200円			

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他					
33	保育園庭芝 生化学業	児童家庭 課	保育園保護 者会等									○		子どもの体力の低下、情緒の不安定が社会 問題化するなか、子どもたちが裸足で思いきり 遊べる場所、周辺環境にやさしい癒しの空間を 創造することにより、児童の屋外活動を促進し、 基礎体力の向上、情操の安定に資することを目 的としています。  鳥取市内のNPO法人グリーンスポーツ鳥取 の技術協力により、「鳥取方式」による園庭の芝 生化を実施します。保育園後援会が実施主体 となり、保護者が施工・維持管理に係る作業を 負担、市が事業費を補助、NPOが技術指導を 行い、三者協働により低コストで快適な保育環 境を整備します。	転倒によるケガの減少、周辺の側溝へ の土砂流出、屋外活動時の砂塵飛散が 全くなくなり、児童の外遊びが盛んになっ たなどの効果があります。また、親子で作 業することによる交流や家庭での会話が 増える等、子どもの情操への好影響も見 られ、保護者アンケートでも7割以上の保 護者が満足と回答しています。	実施園8園 みたから保育園:植付面積480㎡ 美保保育園:植付面積900㎡ 豊実保育園:植付面積1000㎡ 千代保育園:植付面積330㎡ 福部保育園:植付面積900㎡ 河原保育園:植付面積500㎡ 大村保育園:植付面積900㎡ わかば保育園:植付面積450㎡  決算額 10,671,964円
34	地域協働型 保育施設運 営助成事業	児童家庭 課	国府町成器 地区自治会									○		児童数の減少に伴い国府町成器地区の「い ずみ保育園」を廃園するにあたり、地域が自主 的に認可外保育施設を運営する場合にその運 営費の一部を補助し、過疎地域の児童の受け 皿を確保します。平成20年4月に国府町成器 地区自治会運営による「いきいき成器保育園」 として開園しました。	地域が運営主体となり、いずみ保育園 の園舎を活用した地域密着型の保育施 設「いきいき成器保育園」として開園、地 域振興策の一環として運営費の一部を助 成し、地域が一体となった保育園運営を 行います。	児童数:3歳未満児3名 3歳以上児3名  決算額 2,100,000円
35	ファミリーサ ポートセン ター(育児 型)運営事 業	児童家庭 課	(社福)鳥取 市社会福祉 協議会									○		ファミリーサポートセンターに登録した人が、 子どもの預かりなど育児の手助けがしてほしい 時にセンターに依頼し、育児の手助けをしたい 人を紹介してもらい、地域の中で子育てについ て助け合うとともに仕事の両立を応援します。 ・保育園・幼稚園までの送迎や預かり ・放課 後・学童保育施設までの送迎や預かり ・保護 者の病気や休養、冠婚葬祭の預かり等に利 用しています。	育児の援助をする会員(提供会員)と育 児の援助を受けたい会員(依頼会員)が相 互に援助活動を行うことにより、仕事と家 庭を両立し安心して働くことができる環境 をつくります。	提供会員:161名 依頼会員:811名 両会員:47名 活動件数:1,019件  決算額 7,276,695円

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他					
36	ここにこ にっこりあい さつ隊との 協働事業	中央保健 センター	ここにこ にっこりあい さつ隊									○	○	本市では、平成18年3月、『新元気プラン～鳥 取市健康づくり計画～』を策定し、乳幼児から 高齢者まで、それぞれのライフステージに沿っ た健康づくりを推進しています。その柱の一つ である心の健康は、いきいきと自分らしく生きる ための重要な条件であり、生活の質にも大きく 影響します。心豊かに社会生活を送るために必 要な人とのふれあいは、コミュニケーションから はじまり、その原点は、あいさつです。あいさつ は人と人との心のつながりを深め、地域社会の 結びつきを強めるとの考えのもと、中央保健セ ンターでは、「ここにこにっこりあいさつ隊」と協 働で、あいさつの普及啓発を地域や幼稚園・保 育園・小学校において実施しています。また、 平成21年度から毎月22日を「ここにこデー」と し、市内で”笑顔のあいさつ”運動を実施してい ます。	公民館・集会所での集まりや学校・幼稚 園等において、あいさつ運動を実施し、ま た、うつ病への理解、早期対処・治療、自 殺予防の目的で心の健康劇を上演、DV Dを作成、出演もしています。住民アン ケート等の結果では、あいさつの大切さを 再認識したり、地域でのコミュニケーション を見直す機会となっているほか、うつ病や 心の健康についての認識が深まっていま す。このほか随時「ここにこにっこり新聞」 を発行したり、会議で振り返りや活動計画 立案を行い、新元気プランの推進を強力 に推進しているところです。	隊員 14人 あいさつ運動 ・地域4回 74人 ・幼稚園、保育園、小学校 8回、1201人  ここにこデーのあいさつ運動 毎月22日 商業施設、市役所で 8回  平成22年度決算額50,000円
37	健康づくり 地区推進員 健康づくり 事業	中央保健 センター	健康づくり 地区推進員 1006人(健 康づくり地 区推進員連 絡協議会)										○	鳥取市の健康づくり事業を全市及び地域で 取り組んでいます。  ①健診受診率向上…各地区検診の回覧、声 掛け等啓発活動、推進員自らが検診を受診 各地区で検診講演会、ミニ講座の開催 ②運動の推進…国府町ウォーキングマップの 作成 全市及び各地区健康ウォークの実施 (各地区で1回以上実施) ③タバコ対策…受動喫煙を防ぐ環境づくり(地 区集会所の禁煙・分煙の推進) 講演会の開催、啓発活動等 世界禁煙デー街頭啓発イベントの開催、 啓発 ポスター等の募集 ④健康講演会の開催…各地区で1地回以上 実施	各町内会(区)より推薦された推進員と共 に活動するため、全市的で住民に身近な 地域での活動が細やかに実施できます。  <目標> ①検診受診率の向上(目標50%)推進 員の受診率を向上する ②運動…各地区で1回以上ウォークを 実施する ③タバコ対策…施設内禁煙の地区集 会所を増やす ④健康講演会…各地区1回以上講演 会を実施する ⑤救急救命講習会…平成20年度～21 年度に講習会未実施地区は1回以上実 施する	①健診受診率向上…各地区検診 の回覧、声掛け等啓発活動、推進員 自らが検診を受診、ミニ講座の開催 ②運動の推進…国府町ウォーキン グマップの作成(7000部) 健康ウォークの実施(全市、37 地区で実施) ③タバコ対策…受動喫煙を防ぐ環 境づくり(地区集会所の禁煙・分煙の 推進) たばこ講演会(102人)の開催、マ ナーウォーク実施(タバコポイ捨て、 受動喫煙啓発)等、世界禁煙デーイ ベント(500人)の協力 ④健康講演会の開催…37地区で 実施 ⑤健康相談、救急救命講習会など の開催

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他			
38	しゃんしゃん体操普及事業	中央保健センター	しゃんしゃん体操普及員(しゃんしゃん体操普及員連絡会)			○						平成19年の鳥取市の65歳以上の人のうち、約17%の人が要介護認定をうけ、平成17年度に本市で実施したアンケート調査で、「一日中家の中で過ごすことが多い」と答えた人が、65歳以上では27.5%を占め年齢とともに多くなっています。 そこで、閉じこもりを予防し、心身の機能を維持向上させ、介護が必要となる状態を予防するため、平成18年度に「しゃんしゃん体操」を作成し、体操を普及するための「しゃんしゃん体操普及員」を育成して、市民に普及しています。また、普及員の技術向上や、普及員同士の交流を深める等の目的で、年に2回普及員連絡会でスキルアップ研修を行っています。 さらに平成21年度には、体操継続者のステップアップや若い世代の方にも親しんでもらうこと等をねらいとして、しゃんしゃん第2体操を作成したことから、DVD等を活用しながら、しゃんしゃん第2体操の普及・啓発にも努めています。	平成21年度までに206名の普及員が誕生し、地域でも約80か所でしゃんしゃん体操が定期的実施されています。また、地域の運動会や敬老会でも紹介され、多くの市民が体験しています。しゃんしゃん体操を継続して実施している人からは、「身体のバランスが良くなった」「足が上がるようになった」などの声も聞かれています。また、体操を評価するため、鳥取大学と協力して身体機能の測定を実施しているが、体操を継続実施している人の身体機能に有意な向上が認められ、継続してしゃんしゃん体操を続けることの効果を十分に証明する結果となっています。	普及員養成30人 しゃんしゃん体操 ・単発実施回数:141回 参加者 4,778人 ・継続実施 70か所 延べ回数 1,753回 参加延べ人数37,178人  決算額:361,413円
39	ブックスタート事業	中央保健センター	絵本の読み聞かせボランティア(及び図書館)		○						保健センターが実施する6か月健康診査を受ける親子に対して、ボランティアと図書館司書が手遊びと絵本の読み聞かせを行っています。赤ちゃんは、保護者に抱っこされ、ゆっくりとことばを語りかけられる時間を通して、安心感や親の愛情を感じながら「心がふれあう時間を親子で家庭でも過ごしてほしい」ということなどを伝え、「ブックスタートパック」を手渡しています。また、地域の公民館や図書館で開催される読み聞かせ会も紹介しています。(6か月健康診査未受診者へは、保健師が家庭訪問等で「ブックスタートパック」を手渡す) また、「ブックスタートパック」の絵本の選定や実施方法、ボランティアの資質向上のための研修、市民への啓発等について3者が協働して行っています。	6か月の全ての赤ちゃんが対象である健診で読み聞かせの楽しさや、絵本の楽しさを体験してもらうことができます。また、選書や赤ちゃんへの読み聞かせ方など、図書館の専門家から具体的なアドバイスにも応じています。読み聞かせボランティアの支援により、この事業が支えられ、赤ちゃんと保護者にあたためた時間を感じてもらい、それぞれが得意分野の能力を発揮して取り組むことで、効率的で効果的な事業展開ができます。	6か月健康診査の年間実績 中央:年36回 東ブロック(国府・福部):年6回 西ブロック(鹿野・気高・青谷):年6回 南ブロック(河原・用瀬・佐治):年6回 読み聞かせボランティア実働延べ人数・・・203人 読み聞かせ実施人数・・・1,683人 ブックスタートパック配布数・・・1,695人  決算額 2,483,589円	

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他			
40	地産地消フェア	経済戦略課	鳥取市地産地消推進協議会	○								地元で生産されたものを地元で消費する地産地消への理解を深めるため、フェアを開催します。	地元の農林水産物や地元で生産された製品等を市民一人ひとりが認識するとともに、生産者と消費者の繋がりをより深めることができます。	地産地消フェアの開催(H23.2.13) ・竹下和男(前香川県綾上町立綾上中学校校長)による講演 ・物産ブースでの地産地消商品販売 ・いもこん鍋無料配布
41	鳥取市花と木のまつり	経済戦略課	鳥取市花と木のまつり実行委員会	○				○				若桜街道を歩行者天国にして花の苗や苗木の配布、パレード、特産品販売、体験コーナーなど子どもから大人まで楽しめる多彩なイベントを行います。  実施日 平成21年4月29日 花のまつり 平成21年11月3日 木のまつり	市民の主体的参加による花と緑のある豊かな街づくりを目指します。	花のまつり参加者 38,000人 木のまつり参加者 25,000人
42	観光ボランティアガイド活性化事業	観光コンベンション推進課	市民							○	○	鳥取市観光協会への委託事業として、観光客をあたたく迎えるため、観光客のニーズにあった解説のできるガイド養成やガイド事業の実施等を行い、訪れただけでは知ることのできない鳥取市の文化や魅力を深く理解してもらい、観光客のリピーターの増加につなげるとともに、市民自らが観光客をもてなす意識を高めます。	多くの市民が観光ガイド養成講座に参加し、市民が観光客をもてなす機運を醸成に努めます。	平成22年度実績 観光ガイド利用客数 8,141人 観光ガイド実施件数 650件  観光ガイド養成講座実施回数 4回 観光ガイド養成講座受講者数 38人
43	観光施設整備事業	観光コンベンション推進課	市民・団体								○	鳥取市が管理する観光地のトイレの清掃の一部について、地元の個人、婦人会等に業務の委託を行い、観光客に、気持ちよくトイレを使用していただくよう、環境の整備に努めるとともに、地元の観光地を取り巻く環境の美化への意識醸成を図ります。	地元の方に清掃業務を委託することにより、地元の方への愛着を深めていただくとともに、地元の方も一体となって美しい環境の中で観光客をもてなす雰囲気を醸成します。	平成22年度実績 実施箇所 5箇所 実績団体 6団体 決算額 1,166,384円



市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他					
44	鳥取砂丘除草ボランティア	鳥取砂丘・ジオパーク推進室	市民、企業・団体		○							○		<p>近年、鳥取砂丘では外来の雑草等が繁茂し、砂の移動が抑制され美しい風紋等が減少してきたことから、平成16年度よりボランティア除草活動を実施しています。</p> <p>今年度も、除草の目的である本来の「砂の動く生きた砂丘」の復活を目指すため、雑草等が種子を散布する初秋の頃までに実施することとしています。</p>	<p>毎年、除草を実施することにより、自然が造り上げた貴重な財産を守り、次世代へ引き継ぎます。</p> <p>ボランティアとして参加することにより、鳥取砂丘をみんなの手で守ろうという機運が盛り上がるなどの効果が期待されます。</p>	<p>平成22年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 3,816人</li> <li>除草面積 42.3ha</li> <li>実施期間 7月3日～9月20日</li> <li>実施日数 27日間</li> </ul> <p>決算額 6,840,574円</p>
45	女性と高齢者のむらづくり推進事業	農業振興課	女性5名以上、高齢者(60歳以上)5名以上、女性と高齢者をあわせて5名以上で構成される集団、地区、集落の団体			○						○		<p>鳥取市の農業振興、地域の活性化を図るため、農山漁村における女性と高齢者の自立した活動に対し、経費の一部を支援するものです。</p>	<p>本補助事業を実施することにより、地域の活性化を図り、地域の特産物の販売促進を目的とします。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>実績団体 11団体</p> <p>決算額 1,271,242円</p>
46	まちとむら交流促進事業	農業振興課	新規に交流事業に取り組む団体、集落			○						○		<p>むらづくり団体が主体となって行う農林漁業体験や食を主体としたイベント活動など、まちとむらの相互の連携を深める事業に対し、経費の一部を支援します。</p>	<p>本補助事業を実施することにより、都市と農村の地域の活性化を図ります。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>実施団体 3団体</p> <p>決算額 300,000円</p>
47	むらづくり活性化特別対策事業	農業振興課	地区むらづくり会議、集落及び集団			○						○		<p>農村地域の活性化を図るため、むらづくり団体が行う各種活動、施設整備に対して、経費の一部を支援します。</p>	<p>本補助事業を実施することにより、農村地域の活性化を図ります。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>実施団体 4団体</p> <p>決算額 1,055,822円</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
48	女性の森グループ活動支援事業	林務水産課	女性の森グループ					○					森林の持つ多面的基の樹の啓発等を行う女性団体の活動に必要な補助金を交付し、林業の振興を図ります。	森林の保護、育成活動、森林に関する学習を通じて森林の保護に対する意識を醸成します。	森林教室実施(森林の保護観察及び普及啓発)松江市・奥出雲町他 決算額 100,000円
49	森づくり市民活動支援事業	林務水産課	賀露自治会・女性の森グループ			○		○					森づくりに対する意識の高揚と啓発を図るために必要な補助金を交付することにより、市民がそれぞれの立場で森林づくりに参加する気持ちを醸成し、人と森林とが共生する心豊かな社会を構築するとともに、本市水源のかん養を図ります。	水道水源保全地域・上流域において、樹木の保育作業を実施し、市民意識の高揚を図るとともに、森林環境整備、水源の涵養を図ります。	賀露自治会 82人、若桜町氷ノ山下草刈 女性の森グループ 20人、智頭町駒帰 下草刈 県漁協青壮年部 延160人、青谷町小畑 鹿野町河内 植林 決算額 848,707円
50	鹿野往来交流館外構整備事業	都市企画課 鹿野町総合支所地域振興課	鹿野まち普請の会ほか			○							鹿野往来交流館は平成21年10月に着工し、平成22年3月に完成しましたが、外構は未整備でした。 そこで、鳥取市と鹿野まち普請の会(まちづくり協議会)の協働により、鳥取方式による広場の芝生化、垣の下に入れる栗石の採集、運搬、作庭に合わせた草木等の植え付け等を行なうとともに、鹿野町内の造園業者がボランティアにより植栽の運搬と植え付け、石の運搬と据付、垣の設置等の作庭作業を行ないました。	鹿野往来交流館は、今まで取り組んできた「まちづくりの集大成」として建設した和風の建築物です。地域の人々の協力により外構が整備されたことで、平成22年9月にグランドオープンを迎えることができました。 建物の周囲に配置された植栽と石が落ち着いた雰囲気を醸し出しています。 外構整備に携わった方が様子を見るため交流館を訪れ、来訪者との交流も進んでいます。	協働による取組み (1)鹿野まち普請の会 お祭り広場芝生苗植付け 400㎡ 龍髭(植付け) 栗石(採集・運搬) (2)鹿野町内の造園業者 つばき 5本(移植) ケヤキ 1本(移植) サルズベリ 3本(移植) キンモクセイ 1本(移植) その他「やまもも」など 石(移設) 和室前作庭

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他					
51	鳥取市住民参画型バス停上屋整備事業	交通政策室	町内会(自治会)又は地区会									○		地元が整備するバス停上屋に対する事業費の一部を補助します。	地域の住民が主体となってバス停上屋整備の計画から管理まで実施することにより、地域の実情にあったバス停上屋を整備することができ、地域福祉の向上及び公共交通の利用促進に効果があります。	平成22年度実績 ・いきいき社まちづくり協議会 805,000円 ・青谷町紙屋区 76,000円 ・福部町細川区 28,000円  決算額 909,000円
52	過疎地有償運送者支援事業	交通政策室	NPO法人等									○		1.補助対象者 新たに過疎地有償運送を実施しようとするNPO法人など 2.運送区域 交通空白地域、路線バスが運行されている区域であるが路線の本数が極端に少ない区域など 3.補助対象事業及び補助額(県と協調して補助) ・運行事業 営業費用から営業収益を差し引いて得た額の合計額(営業費用の8/10を限度)に2分の1を乗じて得た額 ・車両等設備整備事業 車両、通信関連機器購入など事業実施にあたっての初期投資費用に2分の1を乗じて得た額(限度額1,000千円)	地域の実情にあった効率的で持続可能な移動手段が確保されます。また、市民自らが主体となることで愛着が生まれ、利用の喚起が期待されます。	平成22年度実績 決算額 375,000円
53	鳥取市中心市街地活性化事業イベント補助金支援事業	市街地整備室	各団体									○		中心市街地でイベントを開催する活動意欲の高い団体に対して支援することで中心市街地への求心力を高め、賑わいを創出します。	公募提案型によりイベント企画の募集を行うことで、個々の特色ある企画の実現ができ、市民参画による活動のPRになるほか、まちづくりへの意識の高揚を図ります。	実施団体 20団体 参加者数 延47,187人 決算額 6,042,910円

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他					
54	街なか駐車場無料開放デー	市街地整備室	鳥取商店街連合会									○		平成22年度街なか駐車場無料開放デー補助金(仮称)を活用して実施します。  平成22年度街なか駐車場無料開放デー(仮称) 概要:駐車場の3時間無料化を行い、街なかに訪れやすい環境をつくり、その検証を行います。 詳細:協力駐車場の3時間無料駐車券を配布します。 対象駐車場:中心市街地内 協力駐車場(10箇所程度)	協力駐車場の3時間分無料駐車券を配布することで、街なかに訪れやすい環境を整え、滞留時間の延長、回遊性の向上を図ります。	実施団体 3団体 駐車台数 延546台 決算額 223,200円
55	公園芝生化事業	都市環境課	市民									○		既存の公園、公共空地を、公園愛護会、町内会を主体とした市民による管理体制により、鳥取方式により芝生化し、直接市民が維持管理に参画します。 市で必要となる資材、機材の提供を行い、指定管理者による管理方法の支援を行なうことで、初めて参画する市民へのサポートを行ないながら事業を進めていきます。	市民が直接事業に参画することにより、「協働」意識の高揚、遊びやすい空間の創出による利用率の向上、環境保全などを考えます。	平成22年度実績 ・南栄町公共空地 芝生化面積 400㎡ ・吉方北公園 芝生化面積 400㎡ ・浜坂公園 芝生化面積 1,200㎡ ・秋里1号公園 芝生化面積 1,100㎡ ・湖山町南3丁目公共空地 芝生化面積 600㎡ ・宮長公共空地 芝生化面積 300㎡ ・酒津コミュニティ広場 芝生化面積 1,500㎡ ・豊美コミュニティ広場 芝生化面積 500㎡ ・富桑コミュニティ広場 芝生化面積 650㎡
56	袋川ボランティア除草作戦	都市環境課	袋川をはぐくむ会									○		地域と調和のとれた河川環境をはぐくむことを目的として「袋川をはぐくむ会」が毎年1回、袋川の高水敷の除草及び清掃を実施しています。 実施区間:智頭橋～弥生橋(約500m)	河川管理者(県)が実施する除草作業を補完することによって、市街地の河川環境を良好に保っています。	平成22年度実績 実施日 平成22年6月12日 参加者 101人 決算額 0円

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他			
57	市道等原材料支給事業	道路課	自治連合会 加盟住民組織(町内会など)									<p>市道や公衆用道路の有効利用、事故防止のための維持管理など、道路の利便の向上を図るため、自治会等が実施する道路施設整備に対して原材料を支給します。</p> <p>○・支給原材料 生コンクリート、アスファルト補修材、U型側溝、砕石、グレーチング、コンクリート蓋、真砂土、管材料など</p>	<p>行政に頼りがちであった道路施設の整備であったが、原材料支給制度の活用により、自治会、町内会で施設整備する事業が増えました。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>件数 36件</p> <p>決算額 3,636千円</p>
58	防犯灯設置事業	道路課	自治連合会 加盟住民組織(町内会など)									<p>町内会の防犯灯設置申込により、市が防犯灯の設置を行っています。設置後の維持管理(電気代・球替え等)については町内会が行います。</p> <p>○</p>	<p>犯罪件数の低下及び町内会の防犯意識の向上を図りました。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>新規設置 180基、更新分 161基</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他			
59	鳥取市廃棄物不法投棄監視員制度	生活環境課	自治連合会									<p>○ 廃棄物の不法投棄は、基本的にはモラルの問題であり、市でも啓発、看板・監視カメラの設置、パトロールなどの対策を講じているが、依然として後を絶ちません。</p> <p>平成2年度に施行された鳥取県産業廃棄物不法投棄監視員制度も平成15年度をもって廃止され、担当課だけで広範囲な市内全域を把握することは困難な状況であり、市民と行政の協働による地域づくりの促進も踏まえ、地域の実情に合わせた予防対策が必要となりました。</p> <p>そのため、鳥取市自治連合会の協力を得ながら、鳥取地域における不法投棄を未然に防止し、現状を的確に把握するため、平成17年10月より不法投棄の多い山岳地帯を中心に18地区を選定、各地区5名程度の不法投棄監視員を設置しました。不法投棄監視員は自らが所属する地区をパトロールし市へ報告、不法投棄の早期発見と抑制に努めることを目的としていますが、パトロールの際は専用の帽子・腕章を着用するとともに、監視員証を携帯し地域住民への意識啓発も行います。</p> <p>平成19年7月からは鳥取地域13地区、新市域28地区(国府5地区・福部1地区・河原5地区・用瀬3地区・佐治1地区・気高5地区・鹿野3地区・青谷5地区)を追加、平成21年7月からはさらに鳥取地域2地区を追加し、全61地区総勢356名にて活動しています。</p>	<p>鳥取市不法投棄監視員制度や啓発、看板・監視カメラの設置、パトロールなどの対策により、不法投棄件数は減少傾向にある。</p> <p>(平成21年度161件→平成22年度108件)</p> <p>平成21年度から平成22年度の鳥取地域での実績と比較すると、パトロール回数が増加したにも関わらず、不法投棄件数が減少傾向にあるため、当制度の監視による予防効果が働いているものと推測される。</p> <p>(平成21年度) パトロール回数 754回(鳥取地域のみ)</p> <p>(平成22年度) パトロール回数 1,448回</p>	<p>全市パトロール回数 1,448回</p> <p>決算額 1,432,452円</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他					
60	国府地域活性化推進事業	国府町総合支所 地域振興課	地元自治会 他各種団体										○	<p>「国府地域振興プラン」及び「鳥取市国府町協働のまちづくり推進計画」に基づき、国府地域の活性化と振興のために実施する次の事業に取り組む団体等に対して支援を行います。</p> <p>【地域振興のテーマ：「公衆道徳を守り、安心して暮らせる、美しい郷土を築きましょう」】</p> <p>①袋川清掃事業 ②花づくりと緑化推進事業 ③環境美化ボランティアの活動支援事業 ④農林道・水路等の維持管理支援事業 ⑤公衆道徳を大切にする地域づくり事業</p>	<p>「安心して暮らせる美しい郷土づくり」に向かって地域住民と一体となって取り組むことにより、地域への愛着心が育まれると同時に、地域住民自らが進むまちづくりの意識が高まりつつあります。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>①袋川清掃事業 春130人 ②花づくりと緑化推進事業 13団体 ③環境美化ボランティア活動支援事業 3団体 ④農林道・水路等維持管理支援事業 11団体</p> <p>決算額 1,020,991円</p>
61	国府地域振興プラン魅力創出事業	国府町総合支所 地域振興課	・国府町特産品推進協議会										○	<p>&lt;特産品による魅力創出&gt;</p> <p>平成21年度に設立した「国府町特産品推進協議会」の各グループの情報交換会や実際に動ける体制作りを行うため、各グループの特産品や地域の食材を使い、バイキングを開催。それに伴い、都市住民等との多様な交流と特産品の販売促進を図ります。</p>	<p>各組織の現状は各組織独自の活動だけで組織間の連携が希薄であるとともに、高齢化や後継者不足のためグループの存続が危惧されており、課題・問題点の解決策を若者の視点も取り入れ、活動を継続するためのモチベーションづくりや活動を積極的に発信しながら取り組むことができました。</p>	<p>平成22年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換会等の開催</li> <li>・視察研修</li> <li>・バイキングメニュー検討</li> <li>・バイキング試作</li> </ul> <p>決算額 600,000円</p>
62	国府地域振興プラン魅力創出事業	国府町総合支所 地域振興課	・いなば国府ガイドクラブ										○	<p>&lt;観光による魅力創出&gt;</p> <p>国府地域に数多く存在する文化財等の観光資源を活用するため、観光ボランティアガイドの育成研修会の開催、及び観光案内看板等の観光案内環境の整備を行うことにより、観光客をもてなす体制づくりを推進します。</p>	<p>国府地域の魅力創出策として、特産品と観光に焦点をあて、既存の活動の充実・連携により国府地域全体の魅力アップを図るための環境整備の基礎づくりに取り組むことができました。</p>	<p>平成22年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡整備作業</li> <li>・観光ボランティア育成研修会</li> <li>・観光マップ、パンフレット作成</li> <li>・案内看板作成</li> </ul> <p>決算額 600,000円</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
63	因幡の傘踊りの祭典	国府町総合支所 地域振興課	・(財)鳥取市文化財団 ・因幡万葉歴史館 ・国府町因幡の傘踊り保存会								○		<p>県東部地域を中心に広く伝わる傘踊りの関連団体が、「因幡の傘踊り」の発祥の地「国府」に一堂に集い競演するイベントです。互いの技術向上と交流、及び「因幡の傘踊り」の普及・発展を目的とし平成10年から実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各団体による「因幡の傘踊り」の披露</li> <li>地元小・中学生による傘踊りの発表</li> <li>婦人会、その他グループによる手笠踊りの披露</li> <li>「傘踊り体験コーナー」の設置</li> <li>特産品の販売、出店</li> </ul>	<p>毎年、県内外から約15団体、約1,500人の観客を迎える大イベントとして定着しています。</p> <p>地域を代表する伝統芸能「因幡の傘踊り」のPRはもとより、団体にとっては発表の機会及び他団体との交流の場となっており、その技術向上、伝統芸能の普及・発展等にも大きく寄与しています。</p> <p>このイベントには、地元「国府町因幡の傘踊り保存会」の会員が当日の会場設営から運営まで広く関わるなど、協働による観光・文化芸術振興が図られています。</p>	<p>平成22年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出演団体 17団体</li> <li>参加者数 1,155人</li> </ul> <p>決算額 820,000円</p>
64	万葉フェスティバル	国府町総合支所 地域振興課	・鳥取市因幡万葉歴史館万葉集朗唱の会実行委員会 ・日本海新聞社								○		<p>国府地域では、大伴家持が因幡国守として万葉集最後を飾る歌を国府の地で詠んだことちなみ、「万葉のふるさと」としてまちづくりを進めてきました。</p> <p>「万葉集朗唱の会」は平成10年度から開催されており、県内外から多数の参加者を得て、万葉集に対して親しみや理解を深める機会として定着しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>万葉衣装に身を包み、大伴家持が詠んだ470余首からの朗唱(1~3首)</li> <li>曲水の宴(曲水に盃を浮かべ詩歌を詠む歌遊び)</li> <li>万葉茶席、万葉食コーナー、地産地消コーナーなど</li> </ul>	<p>参加者層は、保育園児から小・中学生、各種団体や万葉愛好家のサークル等、また県内外から幅広く参加を得て、恒例のイベントとして定着しています。</p> <p>このイベントを通じて「万葉のまち鳥取市国府町」を全国に情報発信することができます。</p> <p>また、このイベントは、地域住民が組織する実行委員会により実施されており、協働による「万葉のまちづくり」が実践されています。</p>	<p>平成22年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者</li> <li>大伴家持短歌大賞表彰式</li> <li>万葉集朗唱の会</li> <li>名所探索バスツアー</li> <li>講演会、ワークショップ</li> </ul> <p>合計2,000人 決算額 3,400,000円</p>



市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
65	こくふまつり	国府町総合支所 地域振興課	万葉のふる里こくふまつり実行委員会							○			<p>国府地域に伝わる文化を中心とした活動の成果を発表する機会を提供することにより、地域の交流及び文化活動の活性化を図るとともに地域(国府)文化の活性化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングセレモニー(楽団演奏)</li> <li>・各種展示(文芸展、華道展、生活展、学芸展)</li> <li>・芸能フェスティバル</li> <li>・地域特産物バザー</li> <li>・こどもまつり(屋台・映画祭)</li> <li>・殿まる展(殿ダム工事事務所)</li> </ul>	<p>合併前の国府町時代から実施されてきた文化祭を、地域住民が組織する実行委員会の企画・運営により継承されており、地域住民にとっては恒例のイベントとして定着しています。</p> <p>国府地域の各地区で取り組んでいる日頃の文化活動の成果を発表する機会であり、また、こどもまつりは例年多数の親子連れの参加者があり、賑やかな交流の場の提供となっています。</p>	<p>平成22年度実績 参加者 ・オープニングセレモニー(学生演奏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種展示(文芸展、華道展等)</li> <li>・芸能発表会</li> <li>・地域特産物バザー</li> <li>・こどもまつり(屋台・映画祭)</li> <li>・殿まる展(殿ダム工事事務所)</li> </ul> <p>合計2,000人 決算額1,750,000円</p>
66	袋川清掃奉仕作業	国府町総合支所 産業建設課	国交省鳥取河川国道事務所、殿ダム工事事務所、鳥取市国府地域自治会、婦人会、郵便局、青年団、建設業他							○			<p>わかとり国体開催の前年(昭和59年)に会場周辺の環境美化として実施したのを契機に毎年実施しています。</p> <p>自治会、各種団体と国府町総合支所の協働により、国府中央橋から宮下水位観測所までの約1.2kmの区間の清掃作業を行っています。</p> <p>平成19年度までは、年1回7月に実施していましたが、平成20年度からは「鳥取市国府町協働のまちづくり推進計画」の事業として位置づけ、4月、7月の年2回実施しています。</p>	<p>自然愛護精神と環境意識の向上につながっています。また、市民のやすらぎの場である袋川及び水辺の楽校の環境保全と「協働」についての住民意識の醸成につながっています。</p>	<p>平成22年度実績 参加者数 4月18日 130人 決算額 17,000円</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
67	棚田保全応援隊	国府町総合支所 産業建設課	上地棚田保全グループ(棚田耕作農家5戸)、ボランティア			○							鳥取市国府町上地地区は、扇ノ山(1,310m)の中腹、標高約600mの集落で、小さな棚田約50枚(約20ha)が折り重なるように広がり、自然と人の手により独特の景観を造り出しています。上地地区には、江戸時代末期に先人が苦勞して完成させた「京ヶ原水路(全長約4km)」と呼ばれる歴史的な土地改良施設があり、以前は30軒あった農家が水路の維持管理を行っていましたが、現在では5軒まで減少し水路の泥や石、倒木などを取り除く維持管理が困難となりました。 この問題を解決するため、まちとむらの交流事業の一つとして、平成12年から一般ボランティアや大学生、学生人材バンク等を中心に参加者を募り、協働して水路の保全活動を行っています。	【平成21年度実績】 ・実施内容【4月(水路清掃)、8月(水路草刈り)】 ・開催時間 9:00~14:00 午前中 棚田保全活動 午後~ 扇の里交流館で交流会(ジゲ料理のバイキング) ・参加費 無料 ・マイクロバス送迎【経路】鳥取駅南口⇔県庁前 ⇔国府支所 ⇔上地 ・参加者 4月29日:200人 8月29日:70人	【平成22年度実績】 ・実施内容【4月(水路清掃)、8月(水路草刈り)】 ・開催時間 9:00~14:00 午前中 棚田保全活動 午後~ 扇の里交流館で交流会(ジゲ料理のバイキング) ・参加費 無料 ・マイクロバス送迎【経路】鳥取駅南口⇔県庁前 ⇔国府支所⇔上地 ・参加者 4月29日:190人 8月29日:60人
68	国府マストリフェスタ	国府町総合支所 産業建設課	国府マストリフェスタ実行委員会		○			○				殿ダム建設に伴う湖水並びに地域の豊かな自然と清流を利用したイベントとして、周辺住民の協力を得て平成4年から実施されています。以来、毎年県内外から1,000人以上の来場者を迎え盛大に開催されています。  ・マストリ大会 ・マストリかみどり ・特産品の販売、出店	今や国府地域を代表する観光イベントとして定着したこのイベントは、地域の観光振興だけでなく、地域特産品の販売、出店等に地域・各種団体が一体となって積極的に参加しており、中山間地域の活性化にもつながっています。 また、地域住民が組織する実行委員会が企画から当日の運營業務まで幅広く関わっており、協働による地域活性化が図られています。	平成22年度実績 参加者数 1,000人 補助金決算額 1,944,000円	

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他					
69	鳥取市国府町万葉ウォークラリー大会	教育委員会 国府町分室	鳥取市国府町万葉ウォークラリー実行委員会		○							○		<p>国府町の豊かな自然と豊富な文化財を利用したイベントとして、平成2年から実施されています。</p> <p>地域の文化財・観光施設に設置された各チェックポイントでクイズを解きながら、決められた所要時間をかけてゆっくりと国府町の豊かな自然を満喫できる文化・自然体験型イベントです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォークラリー(チェックポイント10箇所&amp;クイズ)</li> <li>・表彰式</li> <li>・ジャンボ鍋の振る舞い</li> </ul>	<p>小・中学生から家族連れ単位等で気軽に参加できることから、年々参加者の幅も広くなり、町内外から多数の参加者を得るイベントとして定着しています。</p> <p>幅広い参加者に地域の文化資源を体験してもらい、同時に「歴史と文化の町“こくふ”」を広くPRすることができるイベントとして確立しました。</p> <p>このイベントは、地域の体育関係者、自治会、市民団体等で構成される実行委員会により実施されており、協働による文化振興が図られています。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>参加者数 33チーム、148人</p> <p>決算額 316,000円</p>
70	福部地域振興プラン魅力創出事業	福部町総合支所 地域振興課	福部アイデア館祭実行委員会		○							○		<p>国府町の豊かな自然と豊富な文化財を利用したイベントとして、平成2年から実施されています。</p> <p>地域の文化財・観光施設に設置された各チェックポイントでクイズを解きながら、決められた所要時間をかけてゆっくりと国府町の豊かな自然を満喫できる文化・自然体験型イベントです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォークラリー(チェックポイント10箇所&amp;クイズ)</li> <li>・表彰式</li> <li>・ジャンボ鍋の振る舞い</li> </ul>	<p>福部町内でアイデア館管理運営協議会により、毎年開催されてきたアイデア館祭の会場を昨年に引き続き「砂の美術館」に隣接する鳥取砂丘情報館サンドパルとつとりに移して開催し、町内で生産された農産物、加工食品、アイデア館開発商品等を広く市民や観光客にPRを行うことにより、広く市民の方々や観光で訪れた県内外の方に福部町の魅力を知って頂き、福部町全体の活性化を図りました。</p>	<p>平成22年度実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.事業名 福部アイデア館祭</li> <li>2.事業主体 福部アイデア館管理運営協議会</li> <li>3.開催日時 H22.11.28(日) AM10:00~PM2:00</li> <li>4.開催場所 鳥取砂丘情報館サンドパルとつとり</li> <li>5.入場者数 約2,700人</li> <li>6.開催内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元農産物、開発商品、加工食品等の販売</li> <li>・豚汁の無料接待(500食)</li> <li>・つきたて餅入りぜんざい</li> <li>・アイデアアンカレーの販売</li> <li>・アマチュアフォークグループによる生演奏ライブ等</li> </ul> </li> </ol> <p>決算額 1,188,000円</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他				
71	らっきょう生産振興大会助成事業	福部町総合支所 産業建設課	福部らっきょう生産組合		○								らっきょう生産に対する生産者の認識を高めるため、生産者一同が集まって行なう振興大会に係る経費の一部を助成しています。	大会を実施することにより、生産者の栽培技術改善、及び地域特産物の生産振興意識を高めることができました。 また、市場関係者より市場動向等のアドバイスを頂き、より一層の栽培意欲の向上の参考となりました。	平成22年度実績 1.らっきょう生産振興大会 2.開催日時 H22.10.30(日) 13:30~16:40 ・開催場所 福部町中央公民館 ・開催内容 講演会、表彰行事、市場関係者との交流会等  決算額 747,355円
72	福部地域活性化推進事業	福部町総合支所 産業建設課	ふくべ楽居大学		○								グリーンツーリズムの実践組織である「ふくべ楽居大学」を核として、新規参加グループの掘り起こしや新たな体験メニュー作成を行い、地域外との交流を盛んにすることで地域の活性化を図ることを目的とした事業で、「ふくべ楽居大学」による新規体験メニューの開発や事業PR等に対し必要な経費を支援しました。	そば打ち体験実習、椎茸原木の菌打ち体験指導等を通じて山間部の良さを再認識して頂くと共に、各種イベントに於いて、らっきょう饅頭、イノシシ鍋、そば粉を使用したダンゴぜんざいの販売を行うことにより、過疎・高齢化に悩む山間地域の活性化の一助とすることができました。	平成22年度実績 1.体験メニュー ・そば打ち体験実習 参加者9名 ・椎茸原木の菌打ち体験指導(福部小学校4年生 32名参加) 2.荒廃農地の再生とそばの栽培拡大 自家製のそば粉によるそば打ちの取り組みを充実させ、そば粉の販売拡大を行うため、荒廃農地を利用しそばの栽培面積を増やすことで、農地再生、景観復興を行いました。 3.各種加工品等の販売 らっきょう饅頭の販売(らっきょう花フェア等) イノシシ鍋、そば粉を使用したダンゴぜんざいの販売(らっきょう花マラソン大会) 4.会員募集 組織強化と地域活性化を充実させるため、会員の募集を随時行っています。

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他				
73	環境美化活動	河原町総合支所 市民福祉課	市社協・小規模作業所		○								地域の環境美化に努めることで子供たちの健全育成にもつながり、地域が一体となって清掃活動に取り組むことで環境意識の高揚につながります。	総合支所前市道は小中学生の通学路になっており、環境美化に努めることで子供たちの健全育成にもつながり、地域が一体となって清掃活動に取り組むことで環境意識の高揚につながった。	平成22年度実績 市道の清掃作業(総合支所前 延長70m) 参加者:市職員・社会福祉協議会職員・小規模作業所延べ35人 実施時期:11月 決算額 0円
74	天然鮎を増やす取組み	河原町総合支所 産業建設課	千代川漁協・釣愛好者・商工会								○		千代川の天然鮎を増やすことを目的に環境調査、簡易魚道の設置、フォーラムなどを開催し、あゆの町河原を復活させ観光の振興を図ります。	千代川下流の堰に簡易魚道を設置することにより、天然鮎の遡上が容易になり、鮎の遡上とともに、上流での釣客の増加が見込まれる。	平成22年度実績 ・簡易魚道の製作、改修 述べ10人 ・既存魚道の設置 述べ30人 ・アユの遡上調査 述べ5人 決算額 314,000円
75	青色パトロール事業	河原町総合支所 地域振興課	民生児童委員		○								「自分たちの町は自分たちで守る」を合言葉に、不審者を寄せつけず、事件を未然に防ぐために各地区で青パトにより自主パトロールを行います。	小中学校の下校時間に実施することにより、地域住民に安心感を与え防犯意識が高まった。	平成22年度実績 実施日 年間200日 参加者 延400人 決算額 44,362円
76	かわはらまちづくりクリーンクリーン作戦	河原町総合支所 地域振興課	郵便局・社協・町P蓮・河原あすなろ・老人クラブ・国交省・青年団・子ども会		○								朝7時から1時間程度千代川河川敷約1kmをボランティアによる清掃作業を実施し、心地よい汗を流します。	河川敷を清掃することにより、参加者の環境意識が高まった。	平成22年度実績 実施日 平成22年7月25日 参加者 200人 参加団体 14団体 決算額 0円

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
77	安心安全踏査事業	河原町総合支所 産業建設課	八上地区河原第1小学校PTA部落代議員		○								地域に暮らす住民どうしが、お互いに声をかけあい、助け合っている風土づくりをしようとする中で、特に最近では子どもたちの安全が脅かされている現状が確認されていることから、地域の防犯に関することや危険箇所等をお互いに把握し、立て看板設置等により防犯に対する機運を高めます。	豪雪により保護者、学校地区公民館長とも日程調整できず机上調査により看板を作成し、地域住民の防犯に対する機運を高めた。	平成22年度実績  実施内容: 机上調査、看板作成 決算額 79,275円
78	用瀬美術展覧会実施事業	用瀬町総合支所 地域振興課	用瀬町文化団体連絡協議会			○					○		用瀬地域在住、または地域出身者による優れた美術作品を一同に集め、展覧会を実地します。	芸術作品を鑑賞することで、その感性に触れ、心豊かな生活の糧にするとともに、用瀬地域の多くの芸術家の創作活動を広くPRします。	平成22年度実績  期間 平成22年10月27日～11月2日 場所 用瀬町民会館 来場者 500人 出品数 25点【出品者25名】  決算額 45,000円
79	市民音楽祭事業	用瀬町総合支所 地域振興課	童謡をうたう会実行委員会		○	○					○		用瀬地域のコーラスグループ等が参加し、童謡・唱歌を歌いひな祭りを祝います。	桃の節句の3月3日に出演者と来場者が一体になって童謡や唱歌を楽しみたい、日本の伝統的な心を深く感じ、ひなまつり行事を後世への継承につなげ、文化振興を図ります。	平成22年度実績  日時 平成23年3月3日 場所 流しびなの館 参加人数 250人 参加団体 8団体  決算額 100,000円
80	因幡用瀬の月を愛でる会実施事業	用瀬町総合支所 地域振興課	用瀬町文化団体連絡協議会			○					○		中秋の名月の日に満月を鑑賞しつつ、楽器演奏会・合唱・お茶会等を開催します。	中秋の名月に「お月見」をすることは、自然との調和を図る日本の生活に根ざした伝統行事です。この日、用瀬地域では地域のシンボルである霊峰三角山(みすみやま)の背後から見事な満月が顔を出します。この満月を鑑賞しながら地域で活動する各文化団体の発表の場、また、優れた舞台芸術に触れる場を提供します。	平成22年度実績  日時 平成22年9月23日(木) 場所 流しびなの館他 参加者 200人 参加団体 6団体  決算額 120,000円

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他				
81	自然環境創造支援事業	用瀬町総合支所 産業建設課	三角山夏祭り実行委員会、用瀬1区自治会、用瀬2区二葉会、用瀬4区景和会、用瀬5区自治会									○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用瀬の三角山神社夏祭りの継承と保全(三角山夏祭り実行委員会) 三角山夏祭りの企画、実施、観光に関する業務</li> <li>・一の谷公園三つ葉ツツジ群生の保全(用瀬一区自治会) 三つ葉つつじ下草刈、一の谷公園につながる散策道の草刈及び景観に関する業務</li> <li>・ふれあいの水辺景観の保全(用瀬二区二葉会) ふれあいの水辺周辺の下草刈、ゴミの除去、景観に関する業務</li> <li>・景石城跡の保全(用瀬四区景和会) 影石城跡周辺の下草刈、影石城跡につながる散策道の草刈、及び景観に関する業務</li> <li>・愛宕山三つ葉ツツジ群生の保全(用瀬五区自治会) 三つ葉つつじ下草刈、愛宕山につながる散策道の草刈及び景観に関する業務</li> <li>・赤波川板井原溪谷のおう穴群の景観の保全(旭ヶ丘部落) 赤波川板井原溪谷のおう穴群周辺の下草刈、ゴミの除去、景観に関する業務</li> <li>・安蔵川支流中津美溪谷の景観の保全(屋住部落) 中津美溪谷の不動滝への散策道の草刈、維持管理、景観に関する業務</li> <li>・犬山神社椎の原生林の保全(犬山神社社叢管理委員会) 犬山神社椎の原生林につながる散策道の草刈、景観に関する業務</li> </ul>	用瀬の古くからあり、観光資源でもある名勝、旧跡などの景観保全、維持管理費を地元自治会及び団体に助成したことにより、観光資源周辺の美観が増進し、地元住民の観光資源育成、保全に対する意識の高揚を図ります。	平成22年度実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角山神社夏祭りの継承と保全 作業者80人、踊り子100人、松明行列108人</li> <li>・一の谷公園三つ葉ツツジ群生の保全 作業面積 1,200㎡ 参加者 35人</li> <li>・ふれあいの水辺景観の保全 作業面積 800㎡ 参加者 28人</li> <li>・景石城跡の保全 作業面積 1,800㎡ 参加者 25人</li> <li>・愛宕山三つ葉ツツジ群生の保全 作業面積 1,600㎡ 参加者 40人</li> <li>・赤波川板井原溪谷のおう穴群の景観の保全 作業面積 4,200㎡ 参加者 30人</li> <li>・安蔵川支流中津美溪谷の景観の保全 作業面積 1,200㎡ 参加者 4人</li> <li>・犬山神社椎の原生林の保全 作業面積 700㎡ 参加者 14人</li> </ul> 決算額 208,000円
82	青少年育成事業「高校生マナーアップさわやか運動」及び「夏の青少年を見守る運動」	教育委員会 用瀬町分室	青少年育成用瀬町地区協議会会員									○	高校生の登校時間帯に合わせてJR用瀬駅でのあいさつ運動およびマナーアップ呼びかけを行ないます。	挨拶の呼びかけに対してほとんどの高校生が挨拶を返してくれるなど効果があります。	平成22年度実績 開催日：平成22年9月 3日間 参加者：延べ12名 決算額 0円

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
83	もちがせふれあいまつり	用瀬町中央公民館	ふれあいまつり実行委員会							○			生涯学習に係る一年間の学習活動の発表の場とします。また、行政の持つ学習情報、生活情報についても広く提供します。これらを総合的に実施することで、一人ひとりの学習意欲を高め、学習活動への参加を促し、生涯学習の一層の振興を図ります。(事業の運営に係る人数は2日間で約120名)	生涯学習に取り組む人たちが自らの作品発表の場作りに協力することにより事業の参画意識の高揚を図ります。	平成22年度実績 平成22年10月30日、31日 平成22年11月20日、21日 参加者 3,000人 決算額 580,000円
84	成人学級草刈ボランティア	用瀬町中央公民館	用瀬町成人学級								○		成人学級では、用瀬小学校の生徒たちが、すばらしい環境のもとで勉学に励みのびのびと育てほしい、という願いを込めて、小学校周辺の草刈清掃ボランティアを実施しています。	用瀬小学校斜面の草刈りをするこにより蜂や蛇などを少なくし学校周辺の安全環境づくりに地域住民として貢献する活動を推進します。	平成22年度実績 日 時:平成22年7月10日(土) 午後1時30分～午後4時まで 参加者:20人
85	用瀬地域振興プラン魅力創出事業	用瀬町総合支所 地域振興課	用瀬もてなしの心地域づくり推進会								○	○	用瀬を流れる「瀬戸川」を中心に身近に存在する井戸場、水車小屋跡、土蔵、お茶屋跡、文学の小道、古い街並みなどの観光資源を発掘・活用し、御憩所の設置等観光客を心温かく迎え入れる環境を造り出すために、上方往来街並活用推進会を中心に既存の各種団体で構成する「もてなしの心地域づくり推進会」を設立し、検討会・意見交換会の開催、先進地視察、ガイド等の人材・組織の育成に取り組むと共に、今後の推進計画を策定し、もてなしの心溢れる地域づくりを協働のまちづくりの理念に沿って推進する活動に対して補助することにより、当該地域の観光の振興と地域の活性化を図ります。	流しびな行事、瀬戸川の鯉のぼり流し・マラニック大会、「お山さん」などの行事、運動公園に遠足、試合や合宿、カヌー水辺公園でのキャンプやカヌー体験などに、観光客などが用瀬地域を訪れていきます。鳥取自動車道が開通し県外からの玄関口を視野に入れ、これら訪問者に心癒される自然や街並を観光してもらうための魅力ある地域づくりを進め、かつ、もてなしの心で迎え入れることで、地域のイメージアップが図れ、年間を通じて今後の観光客などの増加が期待され地域が活性化します。また、鳥取自動車道利用者のお立ち寄りスポットとして、鳥取の観光の振興に資することができます。協働の精神に沿って地域住民自らが地域づくりを推進することにより、地域の一体感を醸成できます。	平成22年度実績 平成22年4月～平成23年3月 検討会・意見交換会の開催、先進地視察の実施 協働の精神に沿って地域住民自らが地域づくりを推進する「もてなしの心推進計画」を策定 委員数 16人 決算額 800,000円



市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他				
86	用瀬地域振興プラン魅力創出事業	用瀬町総合支所 地域振興課	おう穴愛護会			○		○					用瀬町を流れる千代川の支流赤波川の上流部の渓谷には多種多様の甌穴が存在します。その種類の多さは学術的にも貴重な甌穴群です。これら甌穴群が作る景観は四季を通じて人を引き付ける魅力あるものとなっており、この甌穴群の魅力を満喫出来る地域イベントとして新たに渓谷沢登りをマッチさせた「沢登トレッキング」をおう穴祭りのメインイベントとして位置づけ、用瀬地域住民以外のより多くの参加者を迎える魅力ある「おう穴祭り」を開催します。 そのため、地域外への情報発信としてチラシを作製、右岸側の支障木の刈り払い等を行い沢登トレッキング道の整備、歩いておう穴に近寄り、親しみ観察しやすい環境の整備など一層の地域の魅力創出を図ります。	おう穴愛護会等の地域住民自らが地域づくりを推進する団体と協働して用瀬町鷹狩地区の地域資源「赤波川おう穴群」を活用した地域イベント「おう穴まつり」を開催することにより、地域の一体感を醸成できると共に協働のまちづくりを推進します。 また、祭り開催より都市部と中山間地域の住民の幅広い交流と、おう穴群周辺の環境整備により、年間を通じて観光客が増えることが期待され、地域活性化を図ることができます。	実施時期 平成22年6月～平成24年3月  おう穴祭りの開催 8月29日(日)  周辺環境整備 決算額 300,000円
87	ジゲおこし事業	用瀬町総合支所 地域振興課	用瀬町ジゲおこし事業実行委員会		○	○		○				流しびなの里もちがせの地域活性化を目的に、用瀬の特色を生かしたイベントとして、ふれあいフェスティバル、川遊びフェスティバルを開催します。地域住民のボランティアで構成する用瀬町ジゲおこし事業実行委員会に対する活動を補助します。	地域住民のボランティアで構成する用瀬町ジゲおこし事業実行委員会が主体的に活動することにより、地域の一体感を醸成し、地域イベントとして町内外から多数の参加者を得て、盛大に開催されています。	平成22年度実績  ・8月22日 ふれあいフェスティバル 参加者 1,500人 ・3月19,20日 川遊びフェスティバル	
88	佐治地域活性化推進事業	佐治町総合支所 地域振興課	さじミラクルの会			○		○				佐治地域の地域資源を発掘し、住民主体による地域づくりを推進していくことを目指し、地域づくり推進組織である「佐治ミラクルの会」と協働して下記の事業を実施します。  ①農地再生のため、荒廃地にブルーベリー苗を試験的に栽培 ②さじミラクル市を開催(毎月第一日曜日、盆、年末)し、地元産物を中心に販売する。冬季ミラクル市開催強化策合わせて行う。 ③先進地から講師をお招きし、元気が出る講演会を開催する。	①廃園や荒廃していく農地の解消、試験的な作物の栽培により、新たな商品の事業化への試行の取組となります。 ②地元産物の販売促進、PR、生産者等の活性化が図られます。 ③地域づくり、地域活性化のための人材育成、組織づくりの一助となります。	平成22年度実績 決算額 441,634円	

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他			
89	合併地域活性化推進事業	気高町総合支所 地域振興課	瑞穂の郷花 いっぱい作戦実行委員会、逢坂地区区長、浜村まちづくり協議会等			○						瑞穂地区と逢坂地区の県道沿いにコスモスの種を蒔き、フラワーロードを作成します。また、浜村駅前や小学校等にプランターを置き、花を育て、花の育成管理を地域住民や各種団体に依頼することによって町内の環境美化活動に努めるとともに、地域内での住民同士の交流促進や連帯感の強化を図ります。	瑞穂地区内の県道5km、逢坂地区内の県道6kmにわたってコスモスの種をまき、フラワーロードを作成し、町内外の方に楽しんでいただきました。また、浜村駅前や小学校にプランターを100個設置したが、作成にあたりそれぞれの地区から多くの方に参加いただき、住民同士の交流促進や連帯感の強化を図る良い機会となりました。	平成22年度実績 逢坂・瑞穂地区の県道沿い延べ11kmにコスモスの種をまき、フラワーロードを作った。 決算額529,855円
90	原材料支給事業	気高町総合支所 産業建設課	自治会、町内会			○						市民と行政が協働のまちづくりを進めるため、市道や公衆用道路の有効利用、事故防止のための維持管理など市民の道路の利便の向上を図るよう、自治会等が実施する道路施設整備に対して原材料を支給します。  ・支給原材料 生コンクリート、アスファルト補修材、U型側溝、砕石、グレーチング、コンクリート蓋、真砂土、管材料など	これまで、行政に頼りがちであった道路施設の整備であったが、原材料支給制度の活用により、自治会、町内会で施設整備する事業が大幅に増えました。	平成22年度実績 決算額 759,350円
91	気高地区海浜清掃	気高町総合支所 産業建設課	町内の自治会(酒津、船磯、姫路集落)、各種団体、ボランティア団体								○	酒津・船磯漁港管内の海岸には、大量の海からの漂着物(一般廃棄物や漁具類)があり、周辺町内会やボランティアの協力を得て、毎年6月から9月にかけて年2回一斉清掃を実施します。	漁港内の海岸一斉清掃をすることによって、環境を守るとともに、身の回りの環境に対する意識を高める機会となります。	平成22年度実績 漂着物(空き缶、空瓶、プラスチック容器、流木等)を回収 1回実施(8/29)  決算額 0円

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他					
92	花いっぱい のまちづくり 事業	鹿野町総 合支所 地 域振興課	鹿野こころ のふるさと づくり委員 会									○		「四季薫るまち鹿野」として、花いっぱいのまちづくり事業を行います。春は菜の花、夏はハス、秋にはコスモスの花の景観を市民の方とさまざまなグループと協力して行います。	ハス事業…年間を通じてハスの親株168株の管理、ハスの里親研修会及び第3回目を迎えた城下町しかのハスウォークが6月27日に開催されることへの協力、ハスの株分け作業を行い、子株を町内の方へ配布しハスで夏の鹿野町を彩ります。  コスモス畑事業…約7000㎡の畑にコスモスを播種し、コスモス回廊を設置します。	蓮の株分けをした子株50株を町内の方へ配付をおこない、「鹿野の夏は蓮のまち」と呼ばれるように広報活動をおこなった。6月27日に行われた第3回世界のハスウォークでは98名の参加者を得て、好評であった。コスモス畑の播種やこすもす回廊づくりを7月20日に行い、34名の市民の方と共同作業を行った。10月23日・24日のわったいな祭に訪れた方に喜んでいただいた。
93	鹿野城跡公園 景観整備 事業	鹿野町総 合支所 地 域振興課	ボランティア 「城山まもり たい」									○		鹿野城跡公園にあるサクラ・紅葉・つつじの剪定と下草刈りを行います。サクラの施肥活動は小中学生を巻き込んで行い、山吹の木とサクラの木の植栽を行います。	鹿野城跡公園は地域の方の憩いの場であり、歴史的な山城の石垣などが残っています。景観を整備する活動を通して、ボランティアの精神の涵養を図り、世代交流の促進を図ります。	11月7日に環境保全作業を総勢119名の方で行った。シバザクラ・アジサイ・ヤマブキの植栽をはじめ、サクラの木104本の育成のため施肥活動をおこなった。小学生・中学生の協力もあり、世代間交流にも結びついた。
94	町内一斉美 化運動	鹿野町総 合支所 市 民福祉課	町内会及び 鹿野地区社 会福祉協 議会									○		鹿野町全集落を対象としたボランティア一斉清掃です。 ・実施日(清掃)平成22年11月14日(日) ・実施日(収集及び処分)平成22年11月15日(月) 清掃場所 各集落道路周辺、河川敷等 清掃対象 可燃物(草等)、不燃物(プラスチック等)	鹿野町全集落を対象としたボランティア清掃として、毎年1回実施されています。地域でできることは、みんなで協力して取り組むという意識は定着しており、清潔で美しいまちづくりの推進に大きく貢献しています。 ・袋は鹿野町総合支所が提供した「旧可燃用指定袋」を使用 ・収集は、鹿野町社会福祉協議会と事業協力として「鹿野町総合支所」及び「鹿野町中央公民館」が実施 ・運搬は、西車両センターが実施	平成22年度実績 全集落(45集落)対象 可燃ごみ 340Kg 不燃ごみ 300Kg 可燃物及び不燃物とも減免措置され、負担はなし 決算額 0円

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
95	青谷ようこそまつり	青谷町総合支所 地域振興課	青谷ようこそまつり実行委員会		○	○			○		○		<p>「和紙」をテーマに、会場を青谷町農林漁業者トレーニングセンター周辺と、青谷和紙工房に設け、和紙作品の展示、高校生書道パフォーマンス、和紙工芸グループによる和紙工芸体験(ちぎり絵・折り紙・立体ちぎり絵・)で地元特産の「因州和紙」をPRします。</p> <p>また、「書道コンクール」は県下の小中高校、交流都市の池田市、姉妹都市の釧路市・福島市・姫路市・岩国市の各小中学校へ募集案内し、優秀作品の展示と表彰式を行います。</p> <p>さらに、地元食材を使った無料「大鍋」や地元農林農林水産物、趣向を凝らした各種バザーやステージイベント等を実施し、文化芸術面においても、住民の作品展示や芸能発表など多彩なイベントを行います。</p>	<p>伝統工芸品「因州和紙」をテーマに、青谷上寺地遺跡や海山の豊かな自然など、青谷に豊富にある地域資源や青谷の魅力を内外に発信するとともに、まつりの「ようこそ、ようこそ」に込められた感謝と思いやりの心を大切に交流の場を創りあげました。また、「因州和紙」を使っのイベントを大きく取り上げPRし、まちを挙げてのまつりとして市民の一体感が醸成されました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メイン会場入場者数 9,000人</li> <li>・ようこそ書道コンクール出店数15,453点</li> <li>・事業費 3,992,609円</li> </ul>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他			
96	青谷地域活性化推進事業	青谷町総合支所 地域振興課	青谷地域づくり連絡協議会	○	○	○	○	○		○		和紙、鳴り砂の浜等の地域資源を次代に継承する事業として、和紙で作成した灯ろうを日置川右岸に設置しました。鳴り砂クリーン作戦などの鳴り砂保全活動、鳴り砂の浜を利用して「あおや鳴り砂ビーチフェスタ“鳴り砂の浜であそばいや”」を展開。また新たな取り組みとして、長尾鼻(岬)の保全活動を実施を行いました。これら事業の実施を成功させるため、青谷地域づくり協議会の団体や会員が相互に協力し、青谷地域の活性化図りました。	様々な事業を展開し、市民との協働することが多く、一定の効果はあったが、参加者の幅を広げていくことが必要。鳴り砂保全活動では、回を重ねるごとに参加者やスタッフの充実がみられ、運営での課題はまだまだあるものの、協働が図られたと考えています。	22年度実績 決算額:821,874円 ・和紙灯ろうの設置 平成22年7月17日～8月21日 ・美化活動 総合支所・駅などの公共施設の花壇整備(清掃作業含む)を実施 ・鳴り砂保全活動 ○鳴り砂クリーン作戦 平成22年6月20日と10月17日に実施 延べ33人が参加 ○青谷鳴り砂ビーチフェスタ 平成22年7月31日 参加者100名 内容:サーフィンスクール、ミニ砂像づくりなど。 ・地産地消 サバ、豆腐など地元産物を燻製し、その技術の向上を図り、ようこそまつりに出店。 ・ふるさとPR JR青谷駅の展示物の入れ替え ・長尾鼻岬環境保全 塩害に強い樹種を魚つき保安林に植樹(事前の選定作業、草刈り含む)
97	青谷地域振興プラン魅力創出事業	青谷町総合支所 地域振興課	青谷地域づくり連絡協議会	○	○	○	○	○		○		昨年に引き続き、「因州和紙」などの魅力を内外に発信します。具体的には、事業実施主体の青谷地域づくり連絡協議会が中心となり、一般市民を募り、地元和紙業者と協働して作品を作り上げ、その作品を青谷地域のみならず、他の市域の公共施設等に設置等を行います。	協働作業により、「因州和紙」の持つ魅力を多くの方に感じていただく機会が増えました。それにより、地元和紙業者の技術の更なる向上、付加価値の着いた作品(商品)の開発、及び伝統産業の活性化が期待できます。	市民等の協働作業として、3.6m×11.7mの大判和紙(溜め漉きという技法ではおそらく世界一)を制作。一枚は書初め大会で柴山抱海先生に揮毫いただくなど、大判和紙の魅力を多くの方に感じていただくことができた。

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
98	「高校生マナーアップさわやか運動」及び「夏の青少年を見守る運動」	教育委員会 青谷町分室	青少年育成青谷町地区協議会		○								青少年育成青谷町地区協議会の構成団体(防犯協議会、更生保護女性会、民生児童委員会、保護司会、おやじの会、少年を見守る店、小・中・高等学校及びPTA等)の協力の元、あいさつ運動、防犯パトロールを行います。	青谷町内の子どもたちはもちろんのこと青谷町へ通っている高校生を温かく見守っていこうとする雰囲気ができます。	平成22年度 高校生マナーアップさわやか運動 1回 4/21～4/24 延 78名 2回 9/14～9/17 延 43名 計 121名  夏の青少年を見守る運動 夏季休業中4回 延 37名  決算額 4,480円

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他					
99	市議会だより表紙写真募集	市議会事務局	鳥取市民									○		<p>&lt;募集テーマ&gt; 「市民の暮らし」 ・市民に親しまれる「市議会だより」の取り組みの一環として、「市議会だより」の表紙をかざる写真を募集する。 ・テーマに沿ったものならば、仕事・遊び・行事・祭りなどを問わない。</p> <p>&lt;応募方法&gt; ・応募資格 鳥取市在住の方、鳥取市に通学・通勤されている方、鳥取市に事務所を有する団体又は鳥取市に活動拠点を置く団体。 ・応募規定 (1)カラープリントの2Lサイズ、あるいは、デジタルデータで、単写真1人2枚以内。過去に撮影されたものでも構わない。(ただし、画像処理したものは不可) (2)作品ごとに応募票に記入の上、提出。またメールの場合は、作品ごとの必要事項がわかるように。 (3)被写体が人物の場合、必ず被写体本人の承諾を得て応募。</p> <p>&lt;審査&gt; 編集委員による審査において行う。</p> <p>&lt;特選作品&gt; 特選・・・1点 特選に選ばれた作品は「市議会だより」(69,000部印刷)の市議会だよりの表紙に使用。</p> <p>&lt;特選作品の著作権&gt; 特選作品の版は、主催者に帰属するものとする。なお、後日ネガまたはポジの原版、あるいは、JPEGでのデータを提出いただく。</p>	<p>「市議会だより」の表紙をかざる写真を募集することにより、より市民に親しまれる「市議会だより」を目指すとともに、市民の市議会に対する一層の理解を図ります。</p>	<p>■平成22年度実績 募集実績 15点 採用作品 4点</p> <p>■決算額 0円</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
100	学校安全推進事業	学校教育課	「地域学校安全委員会」(区長会長、公民館長、地域各種団体、PTA代表、学校長など)									○	<p>1. 学校安全推進組織(「地域学校安全委員会」)</p> <p>(1) 対象 全小学校区(44小学校)に、地域や学校の実状に応じた児童の安全確保を推進する組織を設置します。</p> <p>(2) 内容 ボランティアの協力により学校内外の安全推進事業の運営や効果的な活用を行います。</p> <p>2. 学校安全ボランティア(「スクールガードボランティア」)</p> <p>(1) 対象 全小学校区(44小学校)で、児童の安全確保のためのボランティアを募集し、地域学校安全委員会の運営のもと活動にあたります。</p> <p>(2) 活動内容 「登校時の立ち番及び声かけ」「通学路の巡回・点検」「つきそい下校」「校内での見守り活動」「児童理解のための交流」等、各地域・学校の実状に応じた安全対策を講じます。</p>	<p>1. 校区内の意識高揚と未然防止につながりました。</p> <p>(1) 防犯プレートを着用してのパトロールや、ベスト、帽子など目立つ服装で活動するため、不審者への抑止につながりました。</p> <p>(2) 防犯のぼりや看板を設置することで、地域で子どもたちを見守り育てていく雰囲気生まれました。</p> <p>(3) 見えにくい場所や、不審者が出没しやすそうな場所に改めて気づくことができました。</p> <p>2. 地域での人のつながりの活性化が図られました。</p> <p>(1) 地域の人と顔見知りになり、普段でも気軽に、子どもからあいさつが交わされるようになりました。</p> <p>(2) 安全ボランティアの方に対して、子どもたちも親しみを感じ、地域で出会ったときに安心して行動することができるようになりました。</p>	<p>平成22年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加団体数:44小学校区</li> <li>参加ボランティア数:延べ3,804人</li> <li>決算額:3,310,000円</li> </ul>



市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等		
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他					
101	地域に学ぶ「ワクワク鳥取」推進事業	学校教育課	市内各事業所(648事業所を予定)									○	<p>1. 参加対象生徒 鳥取市立中学校18校の2年生全員</p> <p>2. 実施期間 各中学校で設定した5日間</p> <p>3. 実施内容 (1) 学校ごとに中学校2年生全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で授業日の連続する5日間の体験活動を行います。</p> <p>(2) 活動内容は、生徒の興味・関心と、地域や学校の実態に応じて創意工夫します。</p> <p>(3) グループごとに少なくとも1名の指導ボランティアを充てます。</p> <p>(4) 活動の円滑な実施及び指導ボランティアの確保等のために市推進協議会及び中学校区「ワクワクとっとり」推進協議会(以下「中学校区推進協議会」という)を設置します。</p>	<p>生徒に地域社会に学び、地域の人々とともに生きる力や感謝の心を育み、課題を解決していこうとする意欲や態度が培われました。</p> <p>また、「働く」ことを通して、あいさつや返事などの大切なマナーなどを身につけるとともに、職場の方とのふれあいによって人との関わり方についても学ぶことができました。</p> <p>さらに、将来の進路についても生徒自ら考える良い機会になっており、保護者にとっても非常に有意義な活動となっています。</p>	<p>平成22年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加生徒数:1,715人</li> <li>協力事業所数:651事業所</li> <li>指導ボランティア数:延べ1,691人</li> <li>実施期間:H22.5.10～H22.7.9</li> <li>決算額:3,155,000円</li> </ul>	
102	少年愛護センター街頭補導	生涯学習課	少年愛護センター補導員									○	○	<p>少年たちが好んで集まり、問題行動を起こしやすい場所(鳥取駅周辺、駅構内、百貨店、公園など)を中心に補導計画に基づき、少年愛護センター職員と小・中・高等学校教職員、民生児童委員、各種団体・企業と街頭補導を実施しました。</p>	<p>学校教職員・民生児童委員等と街頭補導を実施することにより、子ども達の街での現状を共通認識できました。また、現状を把握することによって各学校・団体での青少年健全育成と各団体での子どもたちを見守る機運が醸成されました。</p>	<p>平成22年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補導員人数 263人</li> <li>補導実施回数 155回/年</li> <li>活動委員延人数 925人</li> <li>補導件数 754件</li> </ul> <p>決算額 182,000円</p>

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共催	② 実行委員会	③ 事業協力	④ 後援	⑤ 補助・助成	⑥ 委託	⑦ 情報提供・情報交換	⑧ その他				
103	鳥取市成人式に関する事業	生涯学習課	成人式実行委員会		○								新成人の二十歳の門出を祝うとともに、新成人に大人としての自覚と責任を促すことを目的に開催しました。	新成人による実行委員会において企画運営することにより、参加者の希望に沿ったアトラクションを開催することができました。また実行委員となった新成人は、成人式を開催するという一つの目標に向かって協力することにより、仲間意識が芽生え、新しい人間関係を築くことができました。	平成22年度実績 期 日:平成23年1月3日(月) 会 場:とりぎん文化会館梨花ホール 対象者:平成22年4月2日から平成23年4月1日生まれ 2,308人(平成22年11月1日住民登録者数) 参加者:1,900人 実行委員数:18人 決算額 1,749,846円
104	青少年育成鳥取市民会議補助	生涯学習課	青少年育成鳥取市民会議							○			健全な青少年育成のため、広く市民の創意を結集し、青少年育成県民会議の施策に呼応するとともに、独自の活動も設定して、次代を担う青少年の健全育成を図るため諸事業の推進に努めます。  主な事業 ・地区組織の充実と活動の促進 ・家庭の日作文コンクール	関係行政機関をはじめ家庭、学校、地域、企業が一体となってそれぞれの役割を十分発揮し、市民総ぐるみの取組によって青少年の健全育成を市民運動として強力に推進できます。	平成22年度実績 会員数446 (地区協議会41、団体33、個人19、賛助企業353) 決算額 1,250,000円
105	鳥取市青年のイベント助成事業	生涯学習課	鳥取市の青年団体							○			青少年を対象とした事業を実施する団体に活動費の一部を補助し、健全な青少年の育成と青年組織の活性化を図ります。	交付先:(社)鳥取青年会議所 実施日:平成22年10月16日(土) 事業名:「イナバクエスト 親子DE攻略! ~めざせよ! 絆パワー~」 参加者:150名	平成22年度実績 実施日:平成22年10月16日(土) 参加者:150人 決算額 80,000円

市民等との協働による取組事例(平成22年度実績)

番号	事業名	担当課	協働の相手方	事業の形態								事業の概要	事業の効果	事業の実績等	
				① 共 催	② 実 行 委 員 会	③ 事 業 協 力	④ 後 援	⑤ 補 助 ・ 助 成	⑥ 委 託	⑦ 情 報 提 供 ・ 情 報 交 換	⑧ そ の 他				
106	重要文化財 旧美歎水源地 水道施設 特別公開事業	文化財課	美歎活性化 協議会	○									<p>国の重要文化財で、現在保存整備事業を行っている「旧美歎水源地水道施設」を、年1回特別に公開しました。</p> <p>この事業は、地元美歎地区の美歎活性化協議会と協働で行い、施設ガイドのほか、農産物・加工品の販売も行いました。</p>	<p>旧美歎水源地水道施設の利活用事業における美歎活性化協議会との協働体制づくりと、地域の文化遺産としての価値を知り、今後の施設の保存整備の在り方について理解を深めました。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>実施日：平成22年10月23日(土)13:00～16:00</p> <p>参加者：150人</p> <p>決算額 10,000 円</p>
107	千代川市民 一斉清掃	水道局 経営企画 課	市民								○		<p>全国一斉の水道週間(毎年6/1～6/7)に合わせて、鳥取市の水源である千代川の汚染を防止するとともに、水質保全に対する意識の向上を図り、安全かつ良質な水道水の供給を確保することを目的に平成13年から毎年実施しています。</p>	<p>清掃活動により、鳥取市の水源である千代川の汚染を防止し、参加者の水質保全に対する意識の向上を図ります。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>参加者 290人</p> <p>ごみ収集量 4.0<sup>3</sup></p> <p>収集物 大型ゴミ(タイヤ、木材、プラ ンター、ポットなど)</p> <p>決算額 35,000円</p>
108	患者会活動 支援事業	鳥取市立 病院地域 医療総合 支援セン ター	患者会「ひ まわりの会」						○		○		<p>患者会の活動を支援するため、運営費の一部を助成するとともに定例会、勉強会などを実施するための場所、情報を提供し、会の自立的発展を促していきます。</p>	<p>集会場所の提供、医療スタッフの参加による情報提供を通じて患者会の自立的発展をサポートし、患者会が患者のこころの支えとなり、患者と病院スタッフのつながりをより深めることができます。</p>	<p>平成22年度実績</p> <p>決算額 50,000円(活動資金補助)</p>
計	—	—	—	8	22	26	4	51	19	13	14	—	—	—	